

総合資料館 業務概要

- 平成 21 年度 -

京都府立総合資料館

目 次

1	新たな施設整備に向けた取組(経過)	1
2	新たな施設整備に向けた検討と連動した取組	3
3	利用者、資料収集・所蔵状況(全体概要)	4
4	展示、府民講座、情報発信等の取組	6
5	京都府行政文書修理事業	11
6	総合資料館所蔵歴史資料(行政文書)公開事業	11
7	資料の収集・整理・保存	12
	(1) 図書資料	12
	(2) 文書資料	17
	(3) 管理委託現物資料	21
8	調 査	22
	(1) 古 文 書	22
	(2) 行 政 文 書	22
9	閲 覧	23
	(1) 図書資料	23
	(2) 文書資料	30
	(3) 管理委託現物資料	32
10	東寺百合文書の翻刻	32
11	共 同 研 究 等	33
	(1) 府立大学との共同研究	33
	(2) 学会等視察受け入れ	34
	(3) 大学学外授業等の受け入れ	34
	(4) 大学への出講	34
	(5) そ の 他	34
12	図書館実習・インターンシップ	35
	(1) 図書館実習	35
	(2) インターンシップ	35
13	館蔵資料の撮影と複写	35
	(1) 撮影と複写	35
	(2) 報道機関を通じた情報発信	36
14	資 料 の 貸 与	37
	(1) 図書資料	37
	(2) 文書資料	38
	(3) 管理委託現物資料	39
15	図書館相互貸出	40
	(1) 府内公共図書館等	40
	(2) 国立国会図書館	40
16	施 設 の 状 況	41
17	組織・業務分担・予算(平成22年4月1日現在)	43
	(1) 組 織	43
	(2) 職 員 数	43
	(3) 業 務 分 担	44
	(4) 予算状況(平成22年度当初予算)	44
18	平成21年度の主な活動	45
19	沿 革	48
	(参考)館蔵資料の国宝等指定一覧(平成22年3月31日現在)	51

1 新たな施設整備に向けた取組(経過)

府立総合資料館は、京都に関する歴史、文化、産業、生活等の諸資料を総合的に収集し、これを整理・保存して、閲覧に供し、又は展示することにより、府民の調査研究等一般に供することを目的として、昭和38(1963)年に設置されました。

平成19(2007)年以降、施設の老朽化、総合資料館の機能や取り巻く環境の変化等を踏まえ、より一層府民の皆様のご期待に応えうる施設となるよう、館の果たすべき役割・機能のあり方を見据えながら、次のとおり、新たな施設整備に向けた検討を進めています。

◆ 「総合資料館あり方検討プラン」(平成19年度策定)の概要

○ 新たな総合資料館の基本コンセプト

「京都に関する資料を収集・保存・提供する施設」として、京都と日本の学術・文化の振興に貢献するとともに、だれもが身近に利用できる施設として府民ニーズに応える。

○ 基本コンセプト実現のために担うべき5つの役割

- ① 京都に関する歴史・文化関係資料の収集・保存とデータベースの構築
- ② 京都に関する専門研究の振興
- ③ 生涯学習等の支援
- ④ 次世代の教育支援
- ⑤ ネットワーク機能の強化

○ 新たな施設整備

府立大学をはじめとする大学等の研究機関や周辺施設等と連携しながら、所蔵資料の価値を最大限府民に還元できるよう、北山地域において新たな施設整備を図る。

◆ 「総合資料館基本構想」(平成20年度策定)の概要

○ 基本方針

- ① 京都に関する過去・現在について調べるのできる施設として、創設以来蓄積してきたノウハウを十分に発揮し、京都に関する資料を的確に収集・保存し、後世に確実に継承するとともに、引き続き、収集・整理・提供に努める。
- ② 新資料館の基本姿勢、性格を明確にするため、収集・保存・提供に関するガイドラインを策定し、公表する。

○ 重点事項

- ① 京都に関する資料の収集・保存と積極的活用
- ② 公文書館機能の充実
- ③ 研究・学習・教育支援とネットワーク機能の強化
- ④ 北山地域のなかの総合資料館

○ その他検討を要する課題

- ① 効率・効果的な運営
 - ・開館日、開館時間、資料提供方法等の検討を進め、公表
 - ・外部評価機関による評価・指導や協働・協力組織の育成
- ② 設置根拠等の整備
 - ・新資料館設置条例、組織体制、名称・愛称

◆ 北山文化環境ゾーン整備推進についての検討報告(平成21年度策定)の概要

北山地域が、府民が憩いやすらぐ場として、また、文化・環境・学術の交流発信拠点となるよう、将来像の基本的方向性『街区構想』を描く。

△ 街づくりのコンセプト

- 文化と環境に包まれたやすらぎと交流のなかで、京都を世界に発信する街
- 開放感あふれ、歩いてまわりたくなる街

△ 機能を整える視点(北山地域のエリアイメージ)

38ヘクタールもの広大な地域を、交通や人の流れ、周辺環境等を総合的に考慮し、次の5つのエリアに分け、そのイメージに沿った街づくりを進めることで、地域のポテンシャルを最大限に引き出す。

- 感じる(文化) …………… 主として北山通から近い地域
- 学ぶ(学術) …………… 主として北山通から遠い地域
- やすらぐ(環境) …………… 主として植物園地域
- 憩う(親水) …………… 主として賀茂川沿い地域
- ふれあう(交流) …………… 主として北山通沿い地域

△ 総合資料館と府立大学とが連携する新施設の整備の方向性

新資料館については、府立大学等との連携を格段に強化するとともに、「北山文化環境ゾーン整備推進」全体の観点から府立大学施設の一部との合同整備を進める。

- 新施設(新資料館、府立大学文学部研究室・付属図書館等)は、京都の歴史・文化に関する資料を収集・保存・調査・研究するとともに、広く一般に提供し、その調査・研究や学びを支援し、国内外に情報を発信する拠点とする。

① 「国際京都学センター」を(資料館内)設置し、全国的・国際的交流と情報発信の拠点とする。

<国際京都学センター>

- ・ 高度な「京都学」の構築・研究のコーディネーター
- ・ 京都研究の啓発・普及・支援活動の拠点
- ・ センター設置に不可欠な総合資料館と府立大学(文学部研究室・付属図書館)の合同整備

② 連携強化による他の新たな機能の発揮

- ・ 府立大学との連携強化により、双方の資料等の一層広範で利便性に富む府民提供方法の開発
- ・ 京都調査・研究に関するレファレンスの積極的展開
- ・ 府民との一層多様な研究・学習交流の場の提供
- ・ 双方の特性を活かした院生や学生対象の各種教育プログラムの共同開発と社会人への提供等

③ 新総合資料館の新たな機能の展開

- ・ 資料館「基本構想」で提案された4機能の基本方向の具体化と体制整備
- ・ 府立大学、府立植物園等との連携の具体化
- ・ 府立の図書館、郷土資料館等関係機関との連携の推進方策を具体化(可能なものから実施)

◆ 北山文化環境ゾーン整備委員会検討結果(平成21年度)概要

△ 新施設(新総合資料館、府立大学文学部・付属図書館の合同(1施設)整備)

- 「国際京都学センター」の設置による全国的・国際的交流と情報発信
 - ・ 京都に係る「知」の更なる深化(共同研究の推進)
 - ・ 京都しらべ・学習環境の充実・強化
- 総合資料館・府立大学文学部・付属図書館連携による機能・府民サービス向上
 - ・ 京都関係資料の収集・保存・提供、研究・学習・教育の充実・拡大
 - ・ 閲覧ワンフロア化と利用期間・時間拡大による府民サービスの向上
 - ・ 府民等の知的関心・活動への支援強化
 - ・ 施設規模 24,000㎡程度
- 3大学(府立医大、府立大、京都工芸繊維大)教養教育共同化施設
 - ・ 3大学教養教育共同カリキュラム、3大学連携研究・ゼミ等の実施・学生等の交流
 - ・ 医科大学医学科・看護学科の教養教育の機能移転(研究室、実習室、講義室等)
 - ・ 施設規模 9,000㎡程度

2 新たな施設整備に向けた検討と連動した取組

◆ 包括協定事業

府立植物園、府立大学、総合資料館の府立3機関がこれまで以上に密接に連携しながら、地域や社会に貢献することを目指して、平成21年3月に締結した「包括協定」の具体化を図る第一歩として、北山地域の歴史をふりかえりながら、未来を展望することを目的に、次の事業を実施しました。

① 企画展「北山の歴史をふりかえるー資料館・府立大学・植物園の昔と今ー」

- ・ 期 間：平成21年10月31日(土)～11月29日(日)
- ・ 場 所：総合資料館2階展示室
- ・ 内 容：周辺地図、写真、年表、館蔵行政文書等を展示
府立大学・植物園所蔵資料も含め3機関連携して開催
- ・ 参加者：1,739人

② シンポジウム「北山の昔・今・未来を考える」等

11月3日 「古都のイメージ大解剖！ー川端康成の『古都』を手がかりに」

講師等：府立大学教授、植物園長、総合資料館長
場 所：府立大学学生会館多目的ホール
参加者：210人

11月5日 府民講座「北山の都市計画ー琵琶湖疎水支線と北山の景観」

講師等：小野芳朗 京都工芸繊維大学大学院教授
場 所：資料館講堂
参加者：75人

11月26日 地域連携講演会「地域の繋がりー地域の歴史と文化」

講師等：田中安比呂 上賀茂神社宮司、秋道智彌 総合地球環境学研究所副所長
場 所：資料館講堂
参加者：78人

- ③ 北山スタンプラリー
 - ・期 間：平成21年11月21日(土)、22日(日)
 - ・場 所：総合資料館、府立大学、植物園、当番名画の庭、京都コンサートホール
 - ・参加者：161人
- ④ その他
 - ・トワイライトコンサート(11月21日 於 総合資料館正面玄関)
 - ・総合資料館収蔵展示室特別公開(11月21日、22日)
 - ・京都の歴史を歩こう！－北山魅力発見！探検ウォーカー

◆ 外部機関と連携したその他の取組

- ① 府立大学文学部史学科との共同研究(平成14年度～)
 - ・近世の京都府域を対象とした研究活動：「京都町奉行所関係史料集」の公表、論文集の公表
- ② 京都新聞への記事掲載
 - ・館蔵する古典籍について、府立大学文学部教員及び当館職員がわかりやすく解説する「古典籍へようこそ－京都府立総合資料館の書庫から－」の掲載
- ③ 府立図書館との連携
 - ・11月1日は「古典の日」と宣言した京都府の動きと連動し、講演会「平家物語の魅力 清盛の人物造型」の開催

3 利用者、資料収集・所蔵状況(全体概要)

利用者等の状況

事 項	利用者数等	事 項	利用者数等
開館日数	318 日	総合資料館府民講座	684 人
閲覧室等利用者数	80,540 人	古文書入門教室	189 人
図書閲覧室	51,200 人	歴史資料カレッジ	740 人
文書閲覧室	2,646 人	古文書相談	19 件
古文書	910 人	展覧会	4,214 人
行政文書	1,189 人	資料の特別撮影・利用	327 件
写真資料	25 人	(管理委託現物資料を含む)	1,157 点
近代文学資料	6 人	資料の複写	14,205 件
その他	516 人	(電子式複写・マイクロ複写等)	364,363 枚
学習室	26,694 人	資料の館外貸与	37 件
図書の書庫出納冊数	66,534 冊	(管理委託現物資料を含む)	※1 285 点(冊)
図書資料の相談件数	13,419 件	京都北山アークバス*	292 人

※1 図書資料については、冊数で算出

館蔵資料の収集・所蔵状況

資料区分		平成 21 年度受払状況							累計 (平成 22 年 3 月 31 日現在)
		受 入					払 出	計	
		購 入	寄 贈	取 得	保管換 移 管 引渡等	計			
図書 資料 (文献課)	図書資料	1,110	2,475	785	—	4,370	—	4,370	348,170 冊
	その他 ^{※1}	—	—	—	—	—	—	—	2,446 点
	小 計	1,110	2,475	785	—	4,370	—	4,370	350,616 冊(点)
※2 文書 資料 (歴史 資料課)	古文書 ^{※3}	(1)3	(2)136	—	6	(3)145	—	(3)145	(562)85,533 点
	行政文書	—	—	43	2,547	2,590	—	2,590	76,140 冊
	写真資料	—	—	—	—	—	—	—	(14)6,768 点
	近代文学資料	—	—	—	—	—	—	—	(2)23,788 点
	その他 ^{※4}	—	—	—	—	—	—	—	256 点
	小 計	3	136	43	2,553	2,735	—	2,735	192,485 点
※5 管理委託 現物 資料	美術工芸資料	—	42	—	—	42	—	42	9,457 点
	歴史民俗資料	—	6	—	—	6	—	6	18,735 点
	その他 ^{※6}	—	—	—	—	—	—	—	23,173 点
	小 計	—	48	—	—	48	—	48	51,365 点
合 計		1,113	2,659	828	2,553	7,153	—	7,153	594,466 冊(点)

※1 レコード、版木ほか。

※2 文書資料欄の()内の数字は、各資料の固まりを示す文書群等の件数である。

※3 古文書の点数は、平成 13 年度から、詳細目録により算定した数値に変更した。

※4 鳥類はく製、京都府旧公印ほか。

※5 管理委託現物資料は、京都府京都文化博物館を運営する財団法人京都文化財団に管理委託した美術工芸資料等の現物資料である。

※6 吉川観方コレクション、江馬務コレクションほか。

寄託資料の収集・所蔵状況

資料区分		平成 21 年度受払		累計(平成 22 年 3 月 31 日現在)	
		受 入	返 還	件 数	点 数
図 書 資 料 (文 献 課)	図書資料	—	—	—	—
	その他	—	—	1 件	3 点
	小 計	—	—	1 件	3 点
文 書 資 料 (歴史資料課)	古文書	—	—	23 件	22,004 点
	行政文書	—	—	—	—
	写真資料	—	—	3 件	1,517 点
	近代文学資料	—	—	2 件	1,149 点
	その他	—	—	—	—
	小 計	—	—	27 件	24,670 点
	美術工芸資料	—	—	7 件	105 点

管理委託現物資料	歴史民俗資料	—	—	5 件	227 点
	その他	—	—	—	—
	小 計	—	—	12 件	332 点
合 計		—	—	40 件	25,005 点

4 展示、府民講座、情報発信等の取組

◆展示（展覧会の開催）

本年度、当館展示室において、次の3つの展覧会を開催し、入場者数は延べ4,214人でした。

展覧会名	特別展「古典籍へようこそー直江版『文選』とそのなかまたちー」
会期	平成21年7月25日(土)～8月23日(日)
展示の内容	平成20年4月以降、京都府立大学・京都新聞社と連携して京都新聞に掲載した「古典籍へようこそ」において取り上げた古典籍を始め、直江兼統の依頼によって刊行された「直江版『文選』」などを紹介しました。
関連行事	○包括協定締結記念公開シンポジウム「古都のイメージ大解剖！ ー川端康成の『古都』を手がかりに」 平成21年11月3日(火)午後1時～5時 ○トークセッション 平成21年8月8日(土)午後1時30分～4時30分 「古典籍は『愛』だ！ー直江版『文選』とその水脈ー」 講師・パネラー：河内将芳氏（奈良大学文学部教授）、府立大学教員、 資料館職員 ○寺子屋講座「和本をつくろう！」 平成21年7月30日(木)午前10時30分～12時 平成21年8月11日(火)午前10時30分～12時 ○列品解説 平成21年7月30日(木)午後2時～3時 平成21年8月11日(火)午後2時～3時
出品点数	60点
入場者数	1,106人（開催日数29日間、1日平均38人）

展覧会名	企画展「北山の歴史をふりかえるー資料館・府立大学・植物園の昔と今ー」
会期	平成21年10月31日(土)～11月29日(日)
展示の内容	平成21年3月に、京都市北山地域で発展してきた総合資料館・植物園・府立大学の3機関は、相互の連携に関する「包括協定」を締結しました。 この包括協定締結を記念して企画展を開催し、3機関がそれぞれの所蔵する貴重な資料を紹介し、北山の歴史を振り返りました。
出品点数	108点
関連行事	○府民講座「北山の都市計画ー琵琶湖疏水支線と北山の景観ー」 平成21年11月5日(木)午後2時～4時30分 講師：小野芳朗氏（京都工芸繊維大学大学院教授）

	○北山スタンプラリー 平成 21 年 11 月 21 日(土)、22 日(日) 午前 10～午後 4 時 ○地域連携講演会&パネルディスカッション 平成 21 年 11 月 26 日(木) 午後 1 時 30 分～4 時 30 分 「地域のつながりー歴史と文化ー」 ○収蔵展示室特別公開ー人々が使い、伝えてきた道具たちー 平成 21 年 11 月 21 日(土)、22 日(日) 午前 10～午後 4 時 ○京都の歴史を歩こう！ー北山魅力発見！探検ウォークー 平成 21 年 11 月 14 日(土) 午前 10 時～12 時
入場者数	1,739 人(開催日数 27 日間、1 日平均 64 人)

展覧会名	総合資料館収蔵品展
会期	平成 22 年 2 月 27 日(土)～3 月 28 日(日)
展示の内容	京都府林務事務所職員OBから寄贈を受けた北山杉に関する写真を始め、当館が所蔵する明治期の古写真資料からわかる当時の様子や、新しく公開した行政文書の中の写真、資料館メールマガジン掲載写真資料等を紹介しました。また、立命館大学文学部インターンシップの成果発表も展示しました。
出品点数	65 点
関連行事	寺子屋講座「知ろう！つくろう！北山杉」 平成 22 年 3 月 25 日(木) 午前 10 時 00 分～12 時
入場者数	1,369 人(開催日数 28 日間、1 日平均 49 人)

◆講座等

(1) 総合資料館府民講座

当館では、平成 14 年度から総合資料館友の会との共催で、外部講師や当館職員により、歴史や伝統文化、館蔵資料紹介等のテーマで「総合資料館府民講座」を開催しています。本年度は第 56 回から第 63 回まで 8 回開催し、受講者数は延べ 684 人でした。

「総合資料館府民講座」の開催状況

回	月日	講師	演題	受講者数
56	5月15日 (金)	田中淳一郎氏(京都府教育庁 指導部文化財保護課職員)	京都府指定文化財指定記念講演 古久保家文書にみる京の町	80
57	7月30日 (木) 8月11日 (火)	当館職員	特別展「古典籍へようこそ」 関連事業寺子屋講座 和本をつくろう！	40
58	8月8日 (土)	河内将芳氏(奈良大学教授)、 林香奈氏ほか(京都府立大 学)、松田万智子(当館職員)	特別展「古典籍へようこそ」 関連事業トークセッション 『古典籍は愛 だ！ー直江版「文選」とその水脈ー』	90

59	11月3日 (火)	野口祐子氏ほか（京都府立大学）、松谷茂氏（京都府立植物園園長）、井口和起（当館館長）	包括協定締結記念 公開シンポジウム 古都のイメージ大解剖！ 川端康成の『古都』を手がかりに（再掲）	210
60	11月5日 (木)	小野芳朗氏（京都工芸繊維大学大学院教授）	企画展「北山の歴史をふりかえる」関連事業 北山の都市計画－琵琶湖疏水支線と北山の景観（再掲）	75
61	11月8日 (日)	池田敬子氏 (京都府立大学教授)	京都府立図書館・京都府立総合資料館連携 「古典の日」講演会 平家物語の魅力 清盛の人物造型（再掲）	80
62	11月26日 (木)	田中安比呂氏 (賀茂別雷神社宮司) 秋道智彌氏（総合地球環境学研究所副所長）	包括協定締結記念事業 「北山から未来へ」記念講演 地域連携講演会&パネルディスカッション 「地域のつながり－歴史と文化」（再掲）	78
63	3月25日 (木)	加藤曠之氏（北山丸太品質管理協議会事務局長） 勝山吉和氏（京都府京都林務事務所職員）	收藏品展関連事業寺子屋講座 知ろう！つくろう！北山杉	31
合 計				684

(2) 古文書入門教室・歴史資料カレッジ等

平成14年度から実施していた「古文書解読講座」に替わり、本年度は当館を会場に古文書解読に必要な初歩的知識を解説する「古文書入門教室」、京都府立大学合同講義棟の第3講義室を会場に館蔵資料を活用した講義を行う「歴史資料カレッジ」を開催しました。

「平成21年度古文書入門教室」の開催状況

日程	講 師	演 題	受講者数
8月25日(火)	辻 真澄 (当館職員)	古文書入門教室 －古文書はおもしろい－	67人
8月26日(水)			61人
8月27日(木)			61人
合 計			189人

「平成21年度歴史資料カレッジ」の開催状況

	日 程	講 師	演 題	受講者数
前 期	9月10日(木)	井口 和起 (当館職員)	日露戦争と京都	137人
	9月17日(木)	山田 洋一 (当館職員)	近世丹波の触と『徳川領国』 －解読を中心に－	131人
	9月24日(木)	大塚 活美 (当館職員)	京都の写真家 黒川翠山の一断章	118人

後 期	3月7日(日)	島津 良子氏 (奈良女子 大学講師)	御用状を読む —旗本天野氏上方代官 森島家の文書から—	129人
	3月14日(日)	福島 幸宏 (当館職員)	戦後京都の出発	110人
	3月21日(日)	池田 好信 (当館職員)	中世の旅の一断面 —東寺百合文書より—	115人
合 計				740人

「平成21年度出張講座」の実施状況

日程	出張先	講師	演題	受講者数
21年7月25日	京都表装協会青年部 研修会(当館)	辻真澄 (当館職員)	古文書入門—色々な古文書を 見る。さわる。読む。—	38人
7月25日	稲葉神社 崇敬会講演会	山田洋一 (当館職員)	近世「徳川領国」に おける淀藩と稲葉家	30人
22年2月20日	京都表装協会青年部 研修会(当館)	辻真澄 (当館職員)	古文書入門 —古文書解読事始め—	35人
2月19日	府立丹後郷土資料館 古文書講習会	池田好信 (当館職員)	東寺百合文書の歴史	26人
合 計				129人

(3) 古文書相談

古文書相談は、第191回から第192回まで2回開催しました。その他、比較的軽易なものや相談者の意向により随時郵送により回答したもの等、相談件数の合計は19件でした。

◆編集・刊行

本年度に編集・刊行した刊行物は、次のとおりです。

①「資料館紀要」第38号 A5判 316頁

- ・総合資料館・府立大学共同研究事業 京都町奉行所関係資料集 二
古久保家文書「天和三年御公用諸事日記」 歴史資料課
- ・洛北近世史研究会論文集 —徳川日本と京都町奉行所支配国の諸相—
○序 歴史資料課
○徳川日本とは何か 水本 邦彦
○法令と文学作品からみた近世衣服統制と性格—天和三年令を中心に— 寺嶋 一根
○近世伏見の土地・人の構造とその支配—伏見廻り村の視点を中心に— 伊藤 誠之
○京都近郊豪農と門跡寺院 平塚 理子
○奈良奉行所における行政組織形成の萌芽 水谷 友紀
○触にみる近世「徳川領国」内丹波国の構造
—京都府域関係古文書のアレンジメントの前提として⑤— 山田 洋一
○「豊岡県布達」について 西村 正芳

②「東寺百合文書 7 (二函の一部、400点)」 (総合資料館編) A 5判、452頁

③「総合資料館だより」No.159～162

No.159 (平21. 4. 1) 10頁

- ・ 賀茂競馬会神事ー上賀茂神社ー
- ・ 文献課の窓から「京都高等学校文庫」
- ・ 歴史資料課の窓から「明治の地域力再生」
- ・ 最近の収集資料から
- ・ 京都府内市町村史目次公開
- ・ 平成21年度の事業予定
- ・ 総合資料館府民講座のご案内 友の会事務局から 他

No.160 (平21. 7. 1) 8頁

- ・ 当館所蔵「古久保家文書」が京都府指定有形文化財に
- ・ 文献課の窓から「水の事故にはご用心」
- ・ 歴史資料課の窓から「家出と伊勢参りー古久保家文書「町代日記」からー」
- ・ 古文書入門教室、歴史資料カレッジのお知らせ
- ・ 最近の収集資料から
- ・ 総合資料館ホームページのご案内
- ・ 展覧会等のご案内 友の会事務局から 他

No.161 (平21. 10. 1) 8頁

- ・ 総合資料館・植物園・府立大学包括協定締結記念事業「北山から未来へ」
- ・ 包括協定締結記念事業「北山から未来へ」開催の御案内
- ・ 文献課の窓から「身代わりとなった植物園」
- ・ 最近の収集資料から
- ・ 友の会事務局から 他

No.162 (平22. 1. 1) 10頁

- ・ 伊勢物語 ー正月の涙ー
- ・ 平成22年知事年頭あいさつ
- ・ 文献課の窓から「古活字版」
- ・ 歴史資料課の窓から「古文書つれづれ 38」
- ・ 歴史資料カレッジのご案内
- ・ 新規公開資料のご紹介
- ・ 東寺百合文書翻刻出版 (7) のご案内
- ・ 最近の収集資料から
- ・ 総合資料館収蔵品展のご案内 友の会事務局から 他

◆ホームページ

平成14年7月19日に開設した当館のホームページでは、休館日・所在地等の利用案内、講座・展覧会等の各種行事案内、館蔵資料の概要等を紹介しています。平成16年4月1日からは、デジタルデータベース「京都北山アーカイブズ」のサンプル版も公開しています。

所蔵資料をホームページ上において展覧会形式で紹介する「デジタル展覧会」には、「ネット展覧会」、「京の鳥瞰図絵師 吉田初三郎」、「先人たちの京都研究」を掲載しています。

また、資料館が所蔵している主な京都府内各市町村史誌類の目次を収録した『京都府内市町村史目次集』を掲載するとともに、総合資料館が所蔵する行政文書のデジタル画像の一部を『行政文書アーカイブズ』として掲載しました。本年度はこの『行政文書アーカイブズ』に、新公開資料のうち「文化芸術室関係文書」、「京都府立総合資料館文書」、「農業構造改善事業関係資料」及び「雪害対策関係資料」を掲載しました。

なお、平成18年10月5日に創刊した「総合資料館メールマガジン」は、隔週水曜日に発行しています。配信状況は下記のとおりです。

メールマガジン配信状況

号数	配信日	部数	号数	配信日	部数	号数	配信日	部数
第66号	4月8日(水)	565	第75号	8月12日(水)	573	第84号	12月16日(水)	591
第67号	4月22日(水)	568	第76号	8月26日(水)	572	第85号	12月30日(水)	592
第68号	5月6日(水)	558	第77号	9月9日(水)	577	第86号	1月13日(水)	592
第69号	5月20日(水)	561	第78号	9月23日(水)	582	第87号	1月27日(水)	592
第70号	6月3日(水)	563	第79号	10月7日(水)	585	第88号	2月10日(水)	595
第71号	6月17日(水)	568	第80号	10月21日(水)	584	第89号	2月24日(水)	595
第72号	7月1日(水)	565	第81号	11月4日(水)	587	第90号	3月10日(水)	597
第73号	7月15日(水)	569	第82号	11月18日(水)	591	第91号	3月24日(水)	604
第74号	7月29日(水)	569	第83号	12月2日(水)	592			

◆資料館友の会の活動

当館の事業に協賛する者によって、友の会が組織されており、本年度の会員数は274人でした。主な活動内容は以下のとおりです。

①現地講座

6月4日(木)・5日(金)に「京菓子資料館」において実施し、93人の参加がありました。

②見学会

11月6日(金)及び13日(金)に長浜市の「長浜城歴史資料館」、「黒壁スクエア(大通寺、曳山博物館ほか)」において実施し、77人の参加がありました。

③総合資料館府民講座

館と共催で、歴史や伝統文化、館蔵資料紹介等をテーマとした「総合資料館府民講座」を8回開催しました。

④包括記念事業への参加

植物園、府立大学、資料館等が実施した包括記念事業に参加するとともに、スタンプラリーには、役員がスタッフとしてボランティア参加しました。

⑤「総合資料館だより」の発行・配付

館と共同でNO. 155からNO. 158を発行するとともに、会員に送付しました。

5 京都府行政文書修理事業

平成14年に都道府県行政文書として日本で初めて重要文化財に指定された「京都府庁文書」(京都府立庁前後(慶応4年)から昭和21年度までの15,407点)について、適切な保存と積極的な利・活用を図るため、損傷の修理等を行いました。

今年度は敗戦直前の建物疎開関係資料を中心に30点の修理を行ったほか、経常的な手当を57点に対して行いました。

6 総合資料館所蔵歴史資料(行政文書)公開事業

国の緊急雇用対策基金を活用し、当館所蔵歴史資料のうち、「京都府行政文書」の詳細な目録をデータベース化しようとする事業で、今年度から開始しました。

また、その一環として、京都府立総合資料館試行版データベース構築業務にも取り組み、図書・古文書・行政文書・その他資料を横断して検索できるシステムについての構築も行い、本格システムの導入に向けて検討を開始しました。

7 資料の収集・整理・保存

(1) 図書資料

当館では、京都に関する資料等を総合的に収集・整理・保存していますが、資料の種類と内容は次のとおりです。

ア 図書資料(文献課)

図書、逐次刊行物、パンフレット等の印刷物(写本、原稿、書簡、写真、マイクロフィルム等を含む。)及びこれに準ずる資料

イ 文書資料(歴史資料課)

古文書(古代・中世文書、近世・近代文書)、行政文書、写真資料、近代文学資料及びこれに準ずる資料

ウ 管理委託現物資料(財団法人京都文化財団に委託)

美術工芸資料、歴史民俗資料等の現物資料

本年度に収集した資料冊数は、次のとおりです。

区分	購入	寄贈	取得等	計
京都資料	394冊	1,013冊	212冊	1,619冊
人文資料	300	973	69	1,342
官庁資料	京都関係	206	428	725
	国・他府県	325	283	684
合計	1,110	2,475	785	4,370

そのうちの主な資料は、次のとおりです。

(7) 京都資料

書名	著編者等	備考
藤井文政堂板木売買文書(日本書誌学大系 97)	永井一彰著	購入
仁和寺蔵本秘蔵記 翻刻・校訂・現代語訳	[空海著] 大澤聖寛編著	
関山慧玄禅師伝 正法山妙心寺開山	廣田宗玄著	
平安京とその時代	隴谷壽・山中章編	
京都の寺社と室町幕府	細川武稔著	
京都都市史の研究	山田邦和著	
宇治の今昔 宇治市全域 保存版	辻ミチ子監修	
禁裏領山国荘	坂田聡編	
ケースブック京都モデル そのダイナミズムとイノベーション・マネジメント	北寿郎・西口泰夫編著	
京杉本家の四季 町家270年の歴史と暮らし	奈良屋記念杉本家保存会編著 浅井憲雄写真	

<p>京都芸能と民俗の文化史 京都の御所と離宮 京都御所造営録 造内裏御指図御用記 1 伝統文化とグローバリゼーション 京都からの発信 不忘(わすれじ)の記 父、河井寛次郎と縁の人々</p>	<p>山路興造著 三好和義写真 [勢多章純著] 詫間直樹編 笠谷和比古著 河井須也子著 鷺珠江監修</p>	
<p>幕末京都史跡大事典 南山城・宇治地域を中心とする歴史遺産・文化的景観の研究(京 都府立大学文化遺産叢書 1) ふるさと古世 古世町誌 京都北山から 自然・文化・人 公孫樹 京都府立園部高等学校創立 120 周年記念誌</p> <p>伏見稻荷大社奥宮及び白狐社修理工事報告書 京都府京丹後市寺社建築物調査報告書 大宮町 京ごちそうさまお母さんの味</p> <p>京都御所ゆかりの至宝 甦る宮廷文化の美 京都学前衛都市モダニズムの京都展 1895-1930 京都新聞創 刊 130 年記念 尼門跡寺院の世界 皇女たちの信仰と御所文化 東本願寺の至宝展 両堂再建の歴史 妙心寺 開山無相大師 650 年遠諱記念 京都の五山寺院 その歴史と系譜</p> <p>北山杉の詩(オリジナルプリント 47 枚) 体育協会史</p>	<p>石田孝喜著 菱田哲郎編</p> <p>古世町誌編集委員会編 京都府山岳連盟編著 京都府立園部高等学校創立 120 周年記念誌編集委員会編 伏見稻荷大社[編] 妻木宣嗣[編] 京都府生活研究グループ連絡 協議会[編] 京都国立博物館編 京都国立近代美術館編</p> <p>中世日本研究所[ほか]編 真宗大谷派・朝日新聞社編 京都国立博物館[ほか]編 京都市文化市民局文化芸術都 市推進室文化財保護課編 勝山吉和[写真] 京都府体育協会[編]</p>	寄贈
<p>京都府立婦人教育会館 28 年間のあゆみ</p> <p>曳船(ひきふね)・川作(かわさく) 保津川船頭の民俗技術 重要文化財本願寺大師堂修理工事報告書</p>	<p>京都府教育庁指導部社会教育 課編 鵜飼均監修 丹治圭編・文 京都府教育庁指導部文化財保 護課編</p>	取得

(イ) 人文資料

区分	書名	著 編 者 等	備考
参 考 図 書	<p>住吉大社御文庫目録 国書漢籍洋装本 図書館年鑑 2009</p> <p>出版年鑑 2009-1,2 雑誌新聞総かたろぐ 2009 年版</p> <p>書誌年鑑 2009</p>	<p>住吉大社編 日本図書館協会図書館年鑑編 集委員会編 出版年鑑編集部編 メディア・リサーチ・センター株 式会社編 中西裕編</p>	購入

	冷泉家時雨亭叢書 別巻 1	冷泉家時雨亭文庫編	
	国立公文書館年報 第 38 号(平成 20 年度) 宮内庁図書館収書目録 第 58 号	国立公文書館編 宮内庁図書館[編]	寄贈
	日本の図書館 統計と名簿 2008 図書館の状況について 報告書	日本図書館協会図書館調査事業委員会編 日本図書館協会図書館調査事業委員会編	取得
宗教	社寺縁起伝説辞典 日本中世国家と諸国一宮制 日本仏教の教理形成 法会における唱導と論義の研究 日本仏教編年大鑑 八宗総覧 『延暦僧録』注釈 平安時代の国家と寺院 修験道教団成立史 当山派を通して 彦根藩井伊家文書 浄土真宗異義相論 中興禅林風月集抄総索引	志村有弘・奥山芳広編 井上寛司著 蓑輪顕量著 大久保良峻ほか監修 蔵中しのぶ著 岡野浩二著 関口真規子著 平田厚志編 来田隆編	購入
	神宮 第六十二回神宮式年遷宮へ向けて 第 2 版 住吉大社事典 日本の宗教とジェンダーに関する国際総合研究 1～4 ザ・グレイトブッダ・シンポジウム論集 第 2～7 号 明治の禅匠 新版 訓注雲居和尚語録	神宮司庁広報室編 真弓常忠編 岡佳子編 GBS 実行委員会編 禅文化研究所編集部編 雲居[述]・能仁晃道訓注	寄贈
	近世陰陽道組織の研究	梅田千尋著	取得
歴史・地誌	禁裏本と古典学 記録御用所本古文書 近世旗本家伝文書集 上・下巻 律令天皇制祭祀の研究 日本古代の宗教と伝承 律令国家史論集 暦と天文の古代中世史 日本古代出土木簡の研究 大鏡全注釈 院政期文化論集 1～5 中世年貢制成立史の研究 中世の紛争と地域社会 中世裁許状の研究 日本中世気象災害史年表稿 権力と仏教の中世史 文化と政治的状況 江戸幕府大事典 日本古代人名辞典 風土記研究の諸問題	吉岡眞之・小川剛生編 神崎彰利監修 下山治久編 榎村寛之著 松倉文比古編 栄原永遠男ほか編 湯浅吉美著 八木充著 河北騰著 院政期文化研究会編 勝山清次著 蔵持重裕編 大山喬平編 藤木久志編 上横手雅敬著 大石学編 阿部猛編著 荊木美行著	購入
	近世瓦の研究	山崎信二[著]	寄贈

	墓から探る社会 遣隋使・遣唐使と住吉津 飛鳥藤原京木簡 2(図版)・(解説) 近衛新体制の思想と政治 東海道士山宿本陣土山家文書宿帳調査報告書	川崎市市民ミュージアム編 住吉大社編 国立文化財機構奈良文化財研究所編 源川真希著 甲賀市教育委員会[編]	
	文化財と古文書学 筆跡論 看聞日記と中世文化 幕末維新人物新論 時代をよみとく 16のまなざし 近世公家名鑑編年集成 2:元禄十二年-正徳六年 吉田初三郎の鳥瞰図を読む 描かれた近代日本の風景	湯山賢一編 松岡心平編 笹部昌利編 深井雅海・藤實久美子編 堀田典裕著	取得
美術・芸能・写真	日本美術史の杜 村重寧先生星山晋也先生古稀記念論文集 国立西洋美術館展覧会総覧 1960-2009 日名子実三の世界 昭和初期彫刻の鬼才 鎌倉時代造像論 幕府と仏師 佛心 大佛師松本明慶作品集 Light & Color 絵画表現の深層をさぐる 九相図資料集成 死体の美術と文学 浮世絵版画の十九世紀 風景の時間、歴史の空間 祈りの文化 大津絵模様・絵馬模様 近代書史 明治版画史 九谷焼下絵図譜 九谷とアール・ヌーヴォーの交流 中世芸能の形成過程 極楽園 芸術家たちの肖像 スクラップブック アンリ・カルティエ=ブレッソン写真帖	村重寧先生星山晋也先生古稀記念論文集編集委員会編 国立西洋美術館編著 広田肇一著 塩澤寛樹著 松本明慶著 東京文化財研究所編 山本聡美・西山美香編 菅原真弓著 信多純一著 石川九楊著 岩切信一郎著 松本佐喜男編 植木行宣著 三好和義撮影 ロベール・ドアノー撮影 アンリ・カルティエ=ブレッソン撮影	購入
	誌上のユートピア 近代日本の絵画と美術雑誌 1889-1915 昭和期美術展覧会の研究 戦前篇 新構造社八十年史 ペーター・メルクリと青木淳 建築がうまれるとき 高島屋史料館所蔵名品展 豊臣期大坂図屏風 大阪城・エッゲンベルグ城友好城郭締結記念特別展 彦根屏風と書画 百鬼夜行の世界 人間文化研究機構連携展示 狩野派 四〇〇年の栄華 浮世絵版画 上方絵編・江戸編	神奈川県立近代美術館編 東京文化財研究所企画情報部編 創立八十年史編集委員会編 東京国立近代美術館編 泉屋博古館分館編 大阪城天守閣編 彦根城博物館編 国立歴史民俗博物館ほか編 栃木県立博物館編 和泉市久保惣記念美術館編	寄贈

図書館資料によむ神阪雪佳 高梨豊 光のフィールドノート 向付 茶の湯を彩る食の器 漆芸の燦(きらめき) 服部峻昇展 華道研究文献目録 * 伝真言院両界曼荼羅 教王護国寺蔵 * 能装束の色 * 芥子園画伝 大東急記念文庫蔵 * 禅林墨蹟拾遺	京都女子大学京都女子大学短期大学部図書館編 東京国立近代美術館編集 五島美術館編 服部峻昇作 池坊短期大学華道文化研究所編 山口豊著 大東急記念文庫編 田山方南著	寄贈
---	--	----

* 印の資料4点は、財団法人京都高等学校から御寄贈いただきました。

□ 吉田文庫

この文庫は、京都大学名誉教授・元京都府京都文化博物館長・故吉田光邦博士(大正10年生、平成3年没)が蒐集された総合的なコレクションです。平成3年度に御遺族の吉田茂博氏から寄贈を受けました。その後も、吉田文庫に関係のある個人・団体から引き続き送付いただいています。

(ウ) 官庁資料

区分	書名	著編者等	備考
京都関係	京都駅(地下鉄烏丸線・地下街)建設工事誌 水害記念写真帖 昭和拾年六月二十九日 京都府愛宕郡農會農事統計一覽表 明治38年末月調査 京都府與謝郡宮津町現勢一覽 昭和13年(12年度現在)	日本国有鉄道大阪工務局編 愛宕郡八瀬村役場[編] 宮津町役場[編]	購入
	市政のあらまし 平成21年度 京都未来まちづくりプラン 政策推進プラン 年次計画編 大学のまち京都・学生のまち京都推進計画 長岡京市外郭団体評価結果報告書 平成20年度 宇治市の教育 平成21年度 久御山町都市計画マスタープラン 総合防災ハザードマップ	京都市会事務局[編] 京都市総合企画局政策推進室[編] 京都市[編] 長岡京市外郭団体評価委員会[編] 宇治市教育委員会教育総務課編 久御山町事業建設部都市計画課[編] 南丹市役所[編]	寄贈
	京都府包括外部監査報告書 平成20年度 犯罪統計書 平成20年 京都府出資法人自己評価報告書 平成21年9月 京都府統計書 平成19年	土江田雅史[編] 京都府警察本部刑事部刑事企画課[編] 京都府[編] 京都府政策企画部調査統計課編	取得

	障害者福祉のてびき 平成 20 年 10 月現在 点字版 災害時における生活必需品及び応急復旧資材の調達先一覧表	京都府健康福祉部障害者支援課[編] 京都府[編]	取得
国・他府県等	法務沿革誌 第 5～8 巻 中小企業施策総覧 平成 21 年度 世界統計年鑑 平成 21 年日本語版 52 集 (2007) 国際連合世界人口予測 1950→2050 2006 年改訂版 国民生活基礎調査 平成 19 年第 1～4 巻 省エネルギー便覧 2009 年度版	法務省大臣官房司法法制部編 中小企業庁編 国際連合統計局編 国際連合経済社会情報・政策分析局人口部編 厚生労働省大臣官房統計情報部編 省エネルギーセンター編	購入
	海洋白書 日本の動き世界の動き 2009 人間開発報告書 2007/2008 国民生活金融公庫の歩み 所得税関係史料集 導入から申告納税制度以前まで 中高年者縦断調査 第 3 回 (平成 19 年) 南極観測五十年史 JETRO50 年の歩み	海洋政策研究財団[編] 国連開発計画[編] 国民生活金融公庫[編] 税務大学校税務情報センター租税史料室編著 厚生労働省大臣官房統計情報部編 国土地理院編 ジェトロ総務部編	寄贈
	地域保健・老人保健事業報告 老人保健編 平成 19 年度 地域保健・老人保健事業報告 地域保健編 平成 19 年度	厚生労働省大臣官房統計情報部編 厚生労働省大臣官房統計情報部編	取得

イ 雑誌・新聞等

京都関係、日本の歴史、美術工芸、伝統的芸能、官庁関係等の雑誌類及び新聞類を次のとおり収集し、所蔵しています。

区 分	購 入	寄贈・取得	計
京 都 関 係	9 タイトル	2,704 タイトル	2,713 タイトル
一般(歴史・美術・官庁等)	104	2,665	2,769
京 都 官 庁 関 係	—	715	715
計	113	6,084	6,197

(2) 文書資料

ア 古文書

(7) 収集

本年度、収集した古文書は、次のとおりです。

区分	資料名	形態	点数	地域	時期	資料概要（内容／特記）	備考
近世・近代	辻正俊氏旧蔵資料	古文書	4	京都市	天保年間	新清和門院、勸修寺経逸等が使用していた御輿などを描いた絵図。	寄贈
	手洗水町文書	古文書	132	京都市	明治3～昭和期	烏丸通蛸薬師下ルの手洗水町の文書。この町は祇園会の轅町で祇園祭の日には町が管理している御手洗井を公開している。資料は明治以降の町の地券関係書類、諸届類、諸経費出入帳等である。他に「手洗水町什物」として保管されてきた「手洗井戸古図」（塩川文鱗画）がある。手洗井戸や烏丸通の街灯の設置・管理等に関わるものもある。	寄贈
	鑑札	木札	3	京都市	寛政12年、嘉永7年、安政5年	綿屋仲間札、上菓子屋仲ヶ間札、極札	購入

文書複製資料の収集・所蔵状況

資料区分	平成21年度収集			累計(平成22年3月31日現在)		
	文書群数	マイクロフィルム (リール数)	写真帳 (冊数)	文書群数	マイクロフィルム (リール数)	写真帳 (冊数)
古文書	-	-	-	556	1,388	2,205
行政文書	-	-	-	10	84	1,043
合計	-	-	-	566	1,472	3,248

※行政文書のマイクロフィルム、写真帳の数値の増加については、未整理資料の整理による。

(イ) 整理・保存

a 古文書の整理

本年度、整理した古文書は、次のとおりです。

<古文書(原本)等>

区分	文書群名（資料名）	形態	点数	備考
近世・近代	辻正俊氏旧蔵資料	古文書	4	終了／公開
	手洗水町文書	古文書	132	終了／公開
	鑑札	木札	3	終了／公開
	宮本家文書・第2次分	古文書		整理中
	上野家文書	古文書		整理中

b 古文書の燻蒸

本年度は実施していません。

イ 行政文書

(7) 収集

京都府文書の保管、保存等に関する規程」第15条により永年保存文書の移管を、また、同規程第14条により有期限保存文書の引渡しを受けています。

本年度、移管及び引渡しを受けた行政文書は次のとおりです。

永年保存文書の移管		有期限保存文書の引渡し	
完 結 年 度	冊数	完 結 年 度	冊数
昭和 58 年度	1,766	昭和 26 年～平成 15 年度	589
過年度分(昭和 26～57 年度度完結)	192		
合 計	1,958		

また、これ以外に43点の資料を受け入れ、合計2,590冊の資料を収集しました。

(イ) 整理

a 京都府庁文書の整理

京都府庁文書(永年)については、簿冊目録及び件名簿を作成しています。簿冊目録は、明治元年から昭和30年までは冊子目録、昭和31年以降はカード目録、昭和55年度以降は冊子目録を行政組織別に編成しています。

また京都府庁文書(有期)について、事業内容などで資料群にまとめ、群ごとに冊子目録を作成・公開しました。

本年度、作成した目録は、次のとおりです。

文書群名	目録の種類	目録の形態	完結年度	冊 数
京都府庁文書(永年)	簿冊目録・件名目録	冊子目録	昭和 57 年度	1,632
京都府庁文書(永年)	簿冊目録・件名目録	冊子目録	昭和 58 年度	1,766
京都府庁文書(永年)	簿冊目録・件名目録	冊子目録	過年度分 (昭和 26～57 年度)	192
京都府庁文書(有期) 「文化芸術室関係文書」	簿冊目録・件名目録	冊子目録	昭和 43～58 年度	114
京都府庁文書(有期) 「農業構造改善事業関係 ほか資料」	簿冊目録・件名目録	冊子目録	昭和 21～41 年度	85
京都府庁文書(有期) 「雪害対策関係資料」	簿冊目録	冊子目録	昭和 29～39 年度	28
京都府庁文書(有期) 「都市計画事業関係資料」	簿冊目録	冊子目録	昭和 31～58 年度	108

b その他文書の整理

京都府庁文書以外に下記の資料を受け入れ、整理公開しました。

資料名	形態	整理概要	点数
京都府立総合資料館文書	簿冊	目録作成 装備	114
知事室資料	簿冊	目録作成 装備	1

c 複製資料の作成

利用の多い資料、虫損が激しい資料を中心に、原本資料の代替物として紙焼き写真による複製資料を作成しました。

資料名等	原本の冊数	複製物の概要
御駐輦一件（明 10-27）	1	データ・A 4 版紙焼き
賞与原書（明 22-18）	1	データ・A 4 版紙焼き
臨時府会市部会へ討議セシ書類一切（明 27-33）	1	データ・A 4 版紙焼き
丹波各郡町村財産資力表（明 27-42）	1	データ・A 4 版紙焼き
古社寺調	1	データ・A 3 版紙焼き
道路工事設計書	1	データ・A 3 版紙焼き
図書館一件	1	データ・A 3 版紙焼き
土地区画整理関係綴	1	データ・A 3 版紙焼き
臨時府会原議	1	データ・A 3 版紙焼き
近畿地方総監府諸統計調査に関する件 併せ人口調査票各種	1	データ・A 3 版紙焼き
恩賜財団 済生会	1	データ・A 3 版紙焼き
公園	1	データ・A 3 版紙焼き
第 3 次建物疎開（中立売）	1	データ・A 3 版紙焼き
第 3 次建物疎開（中立売）	1	データ・A 3 版紙焼き
第 3 次建物疎開（西陣）	1	データ・A 3 版紙焼き
第 4 次建物疎開（西陣）	1	データ・A 3 版紙焼き
第 4 次建物疎開（西陣）	1	データ・A 3 版紙焼き
第 3 次建物疎開（松原）	1	データ・A 3 版紙焼き
第 3 次建物疎開	1	データ・A 3 版紙焼き
第 3 次建物疎開（堀川）	1	データ・A 3 版紙焼き
第 4 次建物疎開（堀川）	1	データ・A 3 版紙焼き
第 4 次建物疎開（堀川）	1	データ・A 3 版紙焼き
第 3 次建物疎開（七条）	1	データ・A 3 版紙焼き
第 4 次建物疎開（七条）	1	データ・A 3 版紙焼き
第 4 次建物疎開（川端）	1	データ・A 3 版紙焼き
第 4 次建物疎開	1	データ・A 3 版紙焼き
第 2 次建物疎開一件	1	データ・A 3 版紙焼き
第 4 次建物疎開	1	データ・A 3 版紙焼き

第4次建物疎開	1	データ・A3版紙焼き
第3次建物疎開	1	データ・A3版紙焼き
第3次建物疎開契約書及支拂調書	1	データ・A3版紙焼き
第1次建物疎開総括表	1	データ・A3版紙焼き
市町村吏員支那事変行賞一件	1	データ・A3版紙焼き
巨椋池調査ニ関スル意見書	1	データ・A3版紙焼き

※重要文化財京都府行政文書修理事業の成果物を含む

(ウ) 保存

a 資料の保護

虫損が激しくこれまで非公開であった「船井郡町村沿革調書」および「加佐郡町村沿革調書」について補修を外注し、さらにデジタル撮影によりデータ化しました。ほかに、いたみの激しい文書や酸性劣化のおそれのある文書を中性紙の封筒及び専用保存箱に収納したり、データ化することにより代替物での閲覧提供を可能とすることで、文書の更なる損傷を予防することに努めました。

b 文書の移動

旧周山保健所庁舎の行政文書文書庫に、平成21年7月2日および9月30日に、計156箱の行政文書を移動しました。

(3) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する財団法人京都文化財団に業務委託して収集した美術工芸資料は65点で、明細は次のとおりです。

部門		資料名	点数	収集区分	寄贈者名
美術 工芸 資料	染織	北村武資「紅地透紋羅裂地」他	2点	寄贈	北村武資様
		大西廣明「風かおる」他	4点	寄贈	大西朝子様
	陶磁器	伊東慶「向日葵」蓋物他	34点	寄贈	伊東慶様
		高山泰造「鈞窯茶碗」他	5点	寄贈	福本紀子様
	日本画	亀山玲子「馥」	1点	寄贈	亀山玲子様
		山本知克「大きな屋根」	1点	寄贈	山本喆子様
		久保嶺爾「霽」他	4点	寄贈	久保嶺爾様
		杉浦隆「舞妓」他	2点	寄贈	杉浦訓子様
	洋画	西岡義一「フランドン農学校のぶた」他	3点	寄贈	西岡義一様
	人形	御殿雛飾り	1式	寄贈	井本滋朗様
		雛飾り	1式	寄贈	力身康子様
		市松人形	1対	寄贈	早川久仁子様
	歴史民俗 資料	文化炉他	5点	寄贈	長尾万里子様 長尾三千代様
色々緘胴丸（武器武具）		1点	寄贈	大木喜六様	
合 計			65点		

8 調 査

(1) 古 文 書

本年度、調査した文書は次のとおりです。

区 分	調査名	調査先	期 間	関連地域	概 要
古代 ・ 中世	醍醐寺聖教 調査	醍醐寺	平成 21 年 6 月 18 ・ 19 日	京都市	醍醐寺聖教の名称、員数、書写年等の 内容調査
近世 ・ 近代	近世近代村 文書・私文書	京都造形 芸術大学	平成 21 年 6 月 19 日	舞鶴市	田辺（舞鶴）藩の下部組織である大庄 屋組の一つ川口組（14村が所属）の 大庄屋、明治以後は、京都府会議員、 同議長、衆議院議員、府内の教育、産 業（養蚕、鉄道等）等の要職を務める た上野家に伝来する資料。搬入・受入。

(2) 行政文書

京都府文書の保管・保存等に関する規程に基づき、各課(室)から総務調整課に引き継がれた文書の内、保存年数が経過した有期限保存文書(昭和 63 年度完結 20 年保存、平成 10 年度完結 10 年保存等)3,536 冊から 401 冊を選別しました。

また各課共用書庫に保管された平成 15 年度完結 5 年保存文書の内、保存年数が経過して廃棄対象となった有期限保存文書 116 冊の文書を選別しました。

さらに、本庁各課から廃棄する際に直接連絡のあった文書についても選別を行いました。併せて、文書の引渡目録等を作成しました。

今年度の調査選別の状況は、次表のとおりです。

調査選別先 (主務課名)	調査選別の時期	調査選別の概要
環境管理課	平成 21 年 4 月頃	環境アセスメントにかかる文書等を選別収集
企画政策課	平成 21 年 4 月頃	京滋奈三・広域交流圏に関する選別文書
介護福祉事業課	平成 21 年 4 月頃	福祉施設にかかる文書等を選別収集
総務調整課書庫	平成 21 年度中	保存年数が経過した、昭和 63 年度完結 20 年保存文書、平成 10 年度完結 10 年保存文書等の有期限保存文書 3,536 冊について選別収集。
中立売各課共用書庫	平成 21 年 6 月頃	平成 15 年度完結 5 年保存文書等の有期限文書について選別収集。

9 閱 覧

(1) 図 書 資 料

ア 図書閲覧室

京都に関する専門的な調査研究のための閲覧室で290席あります。開架図書約5万冊を自由に利用できるほか、書庫内の図書資料は閲覧請求のうえ利用できます。

本年度の利用者数は51,200人(1日平均161人)、書庫出納冊数は66,534冊でした。

イ 学習室

自習室で140席あります。本年度の利用者数は26,694人(1日平均84人)でした。

閲覧室等利用状況

年 月	開館 日数	図書閲覧室 (1日あたり)		学 習 室 (1日あたり)		書 庫 出納冊数	図書資料の相談件数			
		人	(人)	人	(人)		口頭	電話	文書	
	日					冊	件	件	件	件
21年4月	28	3,611	(129)	1,960	(70)	4,994	1,022	858	143	21
5	15	2,256	(150)	1,212	(81)	3,748	826	711	103	12
6	29	4,311	(149)	2,414	(83)	5,839	1,376	1,157	197	22
7	29	4,999	(172)	2,760	(95)	5,814	1,268	1,083	170	15
8	30	5,867	(196)	3,300	(110)	7,014	1,329	1,162	150	17
9	26	4,244	(163)	2,106	(81)	5,881	1,049	911	121	17
10	29	4,700	(162)	2,544	(88)	6,119	1,176	1,001	147	28
11	27	4,183	(155)	2,004	(74)	5,109	1,088	945	128	15
12	25	3,864	(155)	1,820	(73)	6,027	1,061	899	144	18
22年1月	25	4,203	(168)	2,314	(93)	5,387	1,071	916	140	15
2	26	4,579	(176)	2,332	(90)	5,447	1,092	918	152	22
3	29	4,383	(151)	1,928	(66)	5,155	1,061	928	117	16
計	318	51,200	(161)	26,694	(84)	66,534	13,419	11,489	1,712	218

ウ 図書資料の相談

所蔵資料の有効な利用を図るため、資料の利用案内や調査・研究の支援等の相談業務を行っています。図書閲覧室のカウンターでの相談のほか、電話・文書等による相談にも応じています。

本年度の相談状況は、次のとおりです。

	館利用 案内	複 写 依 頼	特定図書 の 所蔵調査	図書に関 する書誌 的調査	人名・地 名等の読 み方調査	人物・ 団 体 調 査	内 容 調 査	その他	計
口頭	4,801	3,530	1,374	160	24	130	955	515	11,489
電話	360	159	606	42	29	55	327	134	1,712
文書	12	113	14	0	0	9	55	15	218
計	5,173	3,802	1,994	202	53	194	1,337	664	13,419

〔 相談事例 〕

○京都の刑場の歴史について書かれた本はないか。

【回答】

『京都の監獄史』p56～69に西土手の処刑場、粟田口刑場、伏水刑場についての記載がある。また、『京都刑死勤皇倒幕家列伝』p22に、西土手の処刑場についての記述がある。

【回答プロセス】

京都府立総合資料館・京都府立図書館の蔵書検索システムにより「刑場」でキーワード検索したが、記述のある資料は見つからなかった。

NDC分類から326.52が「刑務所」の分類であったので、同システムによりNDC分類「326.52」で検索し、『京都の監獄史』に記述があった。

また、同システムにより「京都 刑死」でキーワード検索すると、『京都刑死勤皇倒幕家列伝』に記述があった。

【参考資料】

『京都の監獄史』 瀬瀬末雄著[刊] 1987 239p 当館請求記号：K/326.52/Ko42

『京都刑死勤皇倒幕家列伝 改訂版』 沢田臼太郎著刊 1970 144p 当館請求記号：K1/281.4/Sa93

○昭和45年頃、KBS京都（ラジオ）のサテライトスタジオが高島屋京都店にあった。スタジオの開設当時の写真が見たい。

【回答】

『高島屋135年史』p106,476に写真が載っている。また、『京都新聞』と『夕刊京都』の昭和38年11月23日夕刊にもサテライトスタジオが開設された記事と写真が載っている。

【回答プロセス】

京都府立総合資料館・京都府立図書館の蔵書検索システムにより「KBS京都」、「近畿放送」でキーワード検索するが写真は見当たらない。

高島屋に設置されたということだったので、『高島屋135年史』を見ると、当時の百貨店の様子の中に、サテライトスタジオの写真があった。

また、同書の年表から昭和38年11月23日に開設したことがわかったので、当時の新聞を探すと、『京都新聞』と『夕刊京都』に記事と写真が掲載されていた。

【参考資料】

『高島屋135年史』 高島屋135年史編集委員会編 高島屋 1968 539p 当館請求記号：Y/673.8/001650

『京都新聞(マイクロフィルム版)』 京都新聞社編刊 当館請求記号：マ/キヨウ/K

『夕刊京都』 夕刊京都新聞社編刊 当館請求記号：ユウカ/K

○釜師の吉羽惣与の写真が載っている資料はないか。

【回答】

質問者が探していた人物は2代目吉羽惣与のことであり、『吉羽与兵衛展』に50才ごろの写真が載っている。

【回答プロセス】

京都府立総合資料館・京都府立図書館の蔵書検索システムにより、「吉羽惣与」で著者名検索し、『吉羽惣与展』に顔写真が載っていたが、質問者からこの人物ではなく、本書出版当時ではもっ

と若い人物であるとのことだった。

同書の略歴から、以前は「吉羽与兵衛」と名乗っていたが、息子に「吉羽与兵衛」を譲り、自身は「吉羽惣与」と名乗っていることがわかった。

そこで2代「吉羽与兵衛」が現在は「吉羽惣与」と名乗っている可能性も考え、同システムにより、「吉羽与兵衛」で著者名検索し、『吉羽与兵衛展』に2代「吉羽与兵衛」の写真が載っていることがわかった。質問者に提供し、確認してもらおうと探していた人物であった。

【参考資料】

『吉羽惣与展』 吉羽惣与作 四条河原町高島屋美術部 1983 1冊 当館請求記号：Y/791.5/042393

『吉羽与兵衛展』 吉羽与兵衛作 日本橋三越本店美術部 1981 1冊 当館請求記号：Y/791.5/042392

○明治5年頃に京都府直営の牧場が今の京都大学附属病院のところにあっただけらしい。この牧場について詳しく知りたい。

【回答】

正式名称は「京都牧畜場」であり、明治5年に開設され、明治34年に閉鎖されている。

京都牧畜場に関しては、『御雇外国人J. A. ウィードの六年間』p34～49、『京都府農業発達史』p15～19に詳しく書かれている。

また、『京都農業』昭和30年4月号p54～57に『京都府官営牧畜場と農牧学校』という論文が掲載されている。

【回答プロセス】

京都の農業関係の資料を見ていくと、『京都府農業発達史』p15～19に記述があり、牧場の名称は「京都牧畜場」であり、ウィードという教師が関係していることがわかった。

京都府立総合資料館・京都府立図書館の蔵書検索システムにより「ウィード」でキーワード検索し、『御雇外国人J. A. ウィードの六年間』p34～49に京都牧畜場の記述が、p177～179に年表があった。

同書の参考文献から京都牧畜場の論文が収録されている『京都農業』昭和30年4月号も紹介した。

【参考資料】

『京都府農業発達史』 京都府農村研究所 1962 1207p 当館請求記号：K0/612.16/Ky6

『御雇外国人J. A. ウィードの六年間』 拝師暢彦著 京都新聞出版センター 2005 183p 当館請求記号：K343/376.48/H15

三橋時雄 「京都府官営牧畜場と農牧学校」 『京都農業』4月号 1955.4 p54-57

○戦後GHQにより、二条城の前が飛行場となっていたという記述を見たが、その典拠が知りたい。また写真を見たい。

【回答】

『占領下の京都』p38に聞き取り調査で飛行場が存在したという証言があったが、写真は掲載されていない。『京都の歴史 9』p292、『戦後京の二十年』p69にGHQから御所を飛行場にしたいと言われるが、交渉の結果二条城前の堀川通が代わりに飛行場になったとの記述があった。写真はどちらの資料にも掲載されていない。

なお、2009年8月12日付朝日新聞大阪本社版夕刊6面の記事に、二条城前に着陸した進駐軍の

小型飛行機の写真が載っているが、この写真の出典は示されていない。

【回答プロセス】

戦後史の資料を見てみると、『占領下の京都』に二条城前の堀川通を飛行場に使っていたという証言の記述があった。

また京都の歴史に関する資料を見ていくと、『京都の歴史 9』と『戦後京の二十年』に記述があったが、いずれも写真は掲載されていなかった。

【参考資料】

『占領下の京都』 立命館大学産業社会学部鈴木良ゼミナール著 文理閣 1991 76p 当館請求記号：K1/210.76/R48

『京都の歴史 9』 学芸書林 1976 545, 31p 当館請求記号：K1/216.2/Ky6/9

『戦後京の二十年』 夕刊京都新聞社 1966 297p 当館請求記号：K1/210.76/Y97

○国民年金手帳制度が昭和36年から始まっているが、今までの年金手帳の表紙の色の変遷を知りたい。

【回答】

社会保険庁のサイトに国民年金制度の変遷の紹介ページがあり、年金手帳の色の変遷の記述がある。

【回答プロセス】

京都府立総合資料館・京都府立図書館の蔵書検索システムで国民年金をキーワード検索してみますが、手帳の色の記述がある資料は見つからなかった。

インターネットで、「国民年金手帳 色」で検索すると、社会保険庁のサイトに国民年金の変遷についてのページがあった。

これによると、昭和36年～昭和49年10月までは原則5年ごとに更新する手帳で、表紙の色は水色、エビ色、肌色と数種類あった。昭和49年11月～平成8年まではオレンジ色で、現在は青色の表紙になっている。

【参考資料】

「年金手帳に切り替わる以前の『被保険者証』をお持ちではありませんか？」

(http://www.sia.go.jp/top/kaikaku/kiroku/tokubetsubin/tetyou_hensen.html 2009年9月14日確認)

○現在京都市岡崎公園の京都市勧業館内にある日図デザイン博物館は、以前はどこにあったのか。

【回答】

日図デザイン博物館は昭和51年11月11日に岡崎公園に建設された。場所は旧勧業館の西側（現在の京都市勧業館の西側部分）に位置し、京都市伝統産業会館との共有施設であった。

この建物は平成4年9月に旧勧業館の建替えに伴い取り壊され、新勧業館の地下一階に移転した。

【回答プロセス】

日図デザイン博物館のホームページを見ると、日本図案家協会の施設だとわかり、京都府立総合資料館・京都府立図書館の蔵書検索システムでキーワード「日本図案家協会」を検索し、『図案年鑑 4』p301～343に日図デザイン博物館の建設資料があった。

建っていた場所については、昭和53年の『京都市精密住宅地図 左京区（南部）』で、現在の京都市勧業館の西側にあったことを確認した。

また、『岡崎公園沿革史』 p450～451から、この建物は平成4年9月に勸業館の建替えに伴い、取り壊されたことがわかった。

【参考資料】

『図案年鑑 4』 日図図案年鑑委員会編 日本図案家協会 1977 344p 当館請求記号：E/757.05/Z6/4

『京都市精密住宅地図 左京区（南部）』 吉田地図 1978 49p 当館請求記号：K1E/291.62/Ky6

『岡崎公園沿革史』 京都市編刊 1997 481p 当館請求記号：MK12/518.85/Ky6

○京都の岡崎公園にあったスケート場について、いつ閉鎖されたのか知りたい。

【回答】

質問のスケート場は「キョート・アリーナ」で、昭和28年9月11日にオープンし、昭和49年5月31日に閉鎖になっている。

場所は京都府立図書館と京都市勸業館の間、勸業館に隣接して建っていた。

なお、跡地は昭和53年3月まで卓球などの体育施設として利用されていた。

【回答プロセス】

『岡崎公園沿革史』を見ると、p390～391に昭和49年8月から53年3月まで、「京都アリーナ」の跡地を卓球などの体育施設として使用していたとの記述があった。

その頃の京都市住宅地図を見ると、昭和41年の『京都市新家屋精密地図 左京区（南部）』から、京都府立図書館と京都市勸業館の間、京都市勸業館に隣接して建っていることがわかった。この資料では名称は「キョート・アリーナ」となっている。

また、昭和53年の『京都市精密住宅地図 左京区（南部）』を見ると、近くに京都府スケート連盟の事務所があったので、京都のスポーツ関係の資料を見ると、『京都府体育協会史』p233に開設年月日が、p238に閉鎖された年月日が記載されていた。

【参考資料】

『岡崎公園沿革史』 京都市編刊 1997 481p 当館請求記号：MK12/518.85/Ky6

『京都市新家屋精密地図 全商工住宅案内図帳 左京区（南部） 1966 49p 当館請求記号：K1E/291.62/Ky6

『京都市精密住宅地図 左京区（南部）』 吉田地図 1983 49p 当館請求記号：K1E/291.62/Ky6

『京都府体育協会史』 京都府体育協会 1979 531p 当館請求記号：K0/780.6/Ky6

○鹿ヶ谷若王子の墓地は明治時代前半は府有地の墓地であったが、その後京都市の管理となった。明治時代の京都の墓地の管理の変遷について知りたい。

【回答】

『京都市政史 1巻』 p93～94に、明治6年に火葬が禁止され、墓地が不足したことにより、京都府は社寺境内や山林の一部を上京区、下京区（当時は区制で、京都市は存在していない）に譲渡したとある。出典の『京都坊目誌』の上京第二十七区鹿ヶ谷若王子墓地が京都市共同墓地とあり、京都市の管理となったことがわかる。

【回答プロセス】

インターネットで「京都市 墓地」で調べると、京都市共葬墓地の案内に京都府から移管された旨の記述があった。

『京都市政史 第1巻』を見ると歴史的経緯の記載があった。出典の『京都坊目誌』（『新修京

都叢書 19巻』所収) p483から鹿ヶ谷町の若王子墓地が京都市共同墓地となっていることがわかった。

【参考資料】

『京都市政史 第1巻』京都市市政史編さん委員会編 京都市 2009 21, 698, 52p 当館請求記号: MK1/318. 26/Ky6/1

「市営墓地 京都市」(<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000003851.html>)
2009年10月13日確認)

○宗教法人について、戦前と戦後に登録の告示が公報に載っていると聞いたが、それを見たい。

【回答】

宗教法人が法人として登録されるようになるのは、1951(昭和26)年の宗教法人法施行以後のことになる。

それ以前、神道の神社やほとんどの寺院については、1883(明治16)年以降「神社明細帳」、「寺院明細帳」に登録され、公認の施設として取り扱われた。

また、1939(昭和14)年に宗教団体が制定され寺院や教派神道の神社、基督教会は宗教団体として登録された。なお一般の神社は国家神道だったため、対象となっていない。

京都府公報には1942~43(昭和17~18)年の宗教団体法による登録告示があるだけで、戦後分については、公報には記載がない。

また、上記告示も何回かに分けて掲載されている。公報の掲載号数はカウンターに一覧表を備え付けているので、それを手がかりに一つずつ確認してもらうしかない。

その他に当館の歴史資料課では1883~84(明治16~17)年に作成された、「神社明細帳」「寺院明細帳」とその関連資料を所蔵しており、特に制限なく閲覧に供している。

同じく歴史資料課では、行政文書として宗教団体法に関連する府内関係団体からの申請書や、戦後の宗教法人法施行に合わせて、府内の神社・寺院などからの提出された申請書などの行政文書を所蔵している。ただし、これらの文書の閲覧等については当館歴史資料課行政文書担当まで事前に相談して欲しい。

【参考資料】

『京都府公報』 昭和17~18年分 当館請求記号: MK0/318. 56/Ky6

○昭和18~20年に御所と府庁の間にあった、『菱嘉』という屋号の精錬業を営んでいた業者の住所を知りたい。

【回答】

『京練』p93から「菱嘉」の屋号をもつ業者は「大西嘉兵衛」であり、『京都市町名変遷史 1』p1216から住所は「中京区新町出水上る両御霊町91番地」である。

【回答プロセス】

戦前の電話帳と商工人名録を探すが、「菱嘉」という名の業者は見つからなかった。

精錬業を営んでいたということだったので、染色加工に関する資料を探すと、『京練』に昭和15年当時の精錬業者の記載があり、「菱嘉」の屋号を持つ業者名の記載があったが、住所は「新町出水上る」のみで詳しい住所はわからなかった。

再度業者名で電話帳と商工人名録を探すが、『京練』と同じく詳しい住所は記載されていなかった。

質問者に以上のことを回答したあと、京都の地名に関する資料を探すと『京都市町名変遷史

1』に詳しい場所がわかる地図が載っていた。

【参考資料】

『京練』 京都織物精練協同組合 1979 307p 当館請求記号：K1/587.5/Ky6

『京都市町名変遷史 1』 松本利治著 京都市町名変遷史研究所 1988 1235p 当館請求記号：K1E/291.62/Ma81/1

○宇野宗甕（そうよう）と三吾、仁松が1970年代に京都府立総合資料館で「陶芸三人展」を開催した。その記録を探している。

【回答】

昭和46年9月21日～12月5日に資料館の館蔵品陳列室にて開催された。刊行物は作っていないようだ。

【回答プロセス】

質問者から『宇野宗甕回顧展』（京都府立総合資料館友の会発行）に昭和45年に開催とあるが、もっと詳しい情報や図録が見たいとのことだった。

京都府立総合資料館・京都府立図書館の蔵書検索システムで「宇野宗甕」でキーワード検索し、『宗甕』の年譜から昭和45年5月とわかるがそれ以上の情報はなかった。

当館で当時発行していた雑誌『京都府立総合資料館友の会会報』を見るが、展覧会は記載されていない。『資料館だより』は昭和46年からの発行であったが、通覧していくと第2号に記載があり、昭和46年に開催されていたことがわかった。

昭和46年度の『業務概要』を見ると、同展示の開催状況があり、会期、閲覧者数がわかる。同展示の図録が刊行された記述は見つからなかった。

【参考資料】

『宇野宗甕回顧展』 宇野宗甕作 京都府立総合資料館友の会 1975 1冊 当館請求記号：751.3/U77

『宗甕』 宇野宗甕作 光琳社 1974 図52枚 当館請求記号：特/751.3/U77

『資料館だより』第2号 1971.11 京都府立総合資料館 当館請求記号：シリヨ/K

『総合資料館の歩み 昭和38-54年度』 京都府立総合資料館編 京都府立総合資料館 1963-1980 1冊(20冊合綴)*昭和47年度までの書名は『業務概要』 当館請求記号：K0/016.216/Ky6

○円山音楽堂の設計者、席数などを知りたい。

【回答】

『京都大事典』によると、昭和2年11月竣工で、広さはステージが約170平方メートル、観客席は3600名収容となっている。

また『京都市の近代化遺産 京都市近代化遺産(建造物等)調査報告書 近代建築編』p166によると設計は京都市営繕課(担当中野進一)となっている。

【回答プロセス】

京都に関する事典類を探すと、『京都大事典』に竣工月や席数、広さの情報は載っていたが、設計者はわからなかった。

京都の近代建築関係の資料を探すと『京都市の近代化遺産 京都市近代化遺産(建造物等)調査報告書 近代建築編』p166に設計者名と建築図面が載っていた。

【参考資料】

『京都大事典』 佐和隆研ほか編 淡交社 1984 1081, 91p 当館請求記号：K0/291.62/Ky6
『京都市の近代化遺産 京都市近代化遺産（建造物等）調査報告書 近代建築編』 京都市文化
市民局文化財保護課編刊 2006 255p 当館請求記号：K1/521.6/Ky6

○双ヶ岡の土地は昭和41年に仁和寺が民間業者に売却し、10年後ぐらいに京都市が約10倍の値段
で買い戻したらしい。そのときの金額が知りたい。

【回答】

この土地は昭和54年1月23日に買収が可決され、『京都市会会議録 昭和54年』によると、買収
金額は23億5827万2000円となっている。

【回答プロセス】

まず、買収した年月を調べるために昭和50年代の年鑑類を調べると、『京都年鑑 1980年版』
p41から昭和54年1月23日に市議会で買収を可決したとわかった。

そこで、『京都新聞 縮刷版』の該当日を見ると、夕刊1面に記事と買収金額が載っていた。正
確な数字を確認するために『京都市会会議録 昭和54年度』を確認すると、第1回第1号のp4に
詳しい金額が掲載されていた。

【参考資料】

『京都年鑑 1980年版』 夕刊京都新聞社 1979 724p 当館請求記号：K0/059.16/Ky6

『京都新聞 縮刷版』 昭和54年1月 当館請求記号：キヨウ/K

『京都市会議録 昭和54年』 京都市会事務局編刊 1979～1980 1冊 当館請求記号：
MK1/318.46/Ky6

エ 資料紹介コーナー

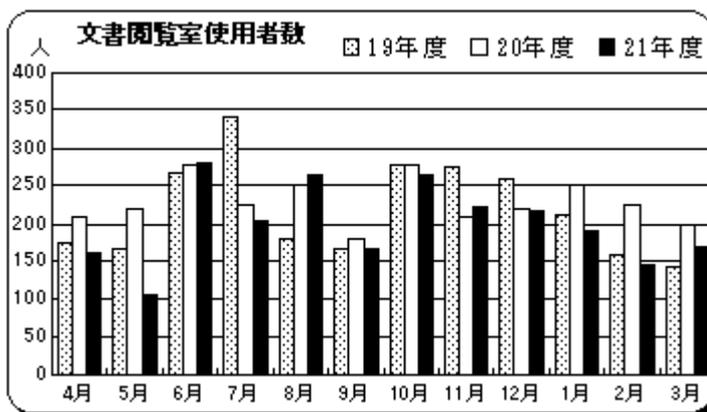
特定のテーマに関する図書や雑誌を集めた資料紹介コーナーを図書閲覧室に設け、総合資
料館が所蔵する図書資料を広く紹介しています。

テーマ	期間
” 防災の日 ” にちなんで	平成21年8月13日～9月8日
きっかけは古典の日 平家物語と軍記物	平成21年10月27日～11月10日

(2) 文書資料

文書閲覧室は、古文書、行政
文書、写真資料及び近代文学資料の
閲覧室で、35席あります。閲覧室に
配架してある東寺百合文書写真帳、
京都府布令書や写真資料コピーを自由
に利用できるほか、デジタル画像
の閲覧（一部は閲覧申請が必要）が
できます。また、書庫内の文書資料
は閲覧申請のうえ利用できます。

本年度の利用者数は2,646人（1日
平均8.4人）、書庫資料閲覧点数は
11,529点（1日平均36.1点）でした。



注：平成19年度は5月21日～6月5日の間、20年度は5月28日
～6月13日の間、21年度は5月18日～29日の間それぞれ
臨時休館

ア 古文書の閲覧

(7) 古代・中世文書の閲覧

館蔵文書は東寺百合文書（原本）が71人、329点、その他の原本閲覧は禅定寺文書等が2人、4点でした。文書複製資料は天竜寺文書等、94人、671点で、その他閲覧室に配架している東寺百合文書写真帳の利用が73人あり、合計240人、1,004点の利用がありました。

(イ) 近世・近代文書の閲覧

館蔵文書は若杉家文書、中井家文書、古久保家文書、三条衣棚町文書等、584人、3,137点、寄託文書は谷口家資料、四条町文書等、40人、602点、文書複製資料は伊佐家文書、森島国男家文書等、46人、382点で、合計670人、4,121点の利用がありました。

イ 行政文書の閲覧

学術調査研究を目的とする一般の閲覧者は881人で4,667冊の利用がありました。

また、府職員等の公務上の閲覧者は308人で1,656冊の利用があり、閲覧者の合計は1,189人、利用冊数の合計は6,323冊でした。

ウ 写真資料の閲覧

写真資料は閲覧室に配架している写真資料コピーとデジタル画像の利用と併せて25人ありました。

エ 近代文学資料の閲覧

近代文学資料は6人、79点の利用がありました。

文書閲覧室の利用状況

年月	開館日数(日)	利用者数													
		古文書					行政文書			写真資料			近代文学資料	その他	合計
		古代・中世		近世・近代	計	一般閲覧	公務	計	閲覧	写真資料コピー及びデジタル画像	計				
		閲覧	東寺百合文書写真帳									小計	(人)	(人)	(人)
21年4月	28	4	22	26	23	49	70	19	89	0	2	2	1	22	162
5月	15	7	0	7	23	30	44	16	60	3	3	6	0	24	120
6月	29	9	4	13	78	91	115	33	148	2	1	3	0	79	321
7月	29	20	6	26	55	81	64	32	96	0	0	0	0	55	232
8月	30	43	3	46	70	116	83	27	110	0	2	2	0	77	305
9月	26	11	7	18	28	46	93	20	113	0	3	3	0	48	210
10月	29	10	2	12	93	105	87	40	127	0	0	0	1	14	247
11月	27	6	6	12	87	99	59	25	84	0	0	0	1	43	227
12月	25	18	6	24	63	87	88	23	111	0	0	0	0	39	237
22年1月	25	6	5	11	70	81	59	32	91	0	6	6	1	52	231
2月	26	6	4	10	34	44	55	25	80	1	2	3	2	26	155
3月	29	27	8	35	46	81	64	16	80	0	0	0	0	38	199
合計	318	167	73	240	670	910	881	308	1,189	6	19	25	6	517	2,646

年月	開館 日数 (日)	書庫資料閲覧利用数								合計 (点)
		古文書			行政文書			写真 資料 (点)	近代 文学 資料 (点)	
		古代 ・ 中世 (点)	近世 ・ 近代 (点)	計 (点)	一般 閲覧 (点)	公務 (点)	計 (点)			
21年4月	28	11	63	74	401	92	493	0	2	569
5月	15	55	201	256	232	84	316	0	0	572
6月	29	57	300	357	483	139	622	0	0	979
7月	29	109	246	355	360	158	518	0	0	873
8月	30	121	380	501	402	134	536	0	36	1,073
9月	26	87	132	219	555	133	688	0	0	907
10月	29	48	368	416	528	214	742	0	18	1,176
11月	27	51	447	498	372	109	481	0	2	981
12月	25	180	670	850	442	93	535	0	0	1,385
22年1月	25	31	193	224	290	295	585	0	4	813
2月	26	22	454	476	305	124	429	2	17	924
3月	29	232	667	899	297	81	378	0	0	1,277
合計	318	1,004	4,121	5,125	4,667	1,656	6,323	2	79	11,529

(3) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、調査研究のため特に必要な場合、特別観覧に供しています。

本年度は、合計15件、104点の特別観覧がありました。主なものは次のとおりです。

申請者の区分	部 門	資 料 名	点 数
個人	日本画	百鬼夜行絵巻	1点
個人	民 俗	放下鉾懸装品	8点
個人	民 俗	大船鉾懸装品	27点
個人	歴 史	伝 坂本龍馬所用鐔	1点
個人	日本画	京の四季、京の百景	9点
個人	日本画	小野竹喬作品ほか	6点

10 東寺百合文書の翻刻

東寺百合文書をより広く利用してもらうため、翻刻して活字化する史料集の刊行を平成15年度に開始しました。本年度その第7巻が刊行されましたが、概要は次のとおりです。

書 名	「東寺百合文書 七」
内 容	二函の一部400点。巻末に花押一覧を収録
体 裁	A5判 452頁
定 価	9,975円（本体価格 9,500円）
編 集	京都府立総合資料館

発行 (株) 思文閣出版
 発行日 平成21年10月1日

11 共同研究等（再掲）

（1）府立大学との共同研究

当館所蔵資料等について、平成14年度（平成13年度は共同の事前調査）から府立大学文学部史学科との間で共同研究を行っています。本年度は、次のとおり、時代別研究を継続して行うとともに、これまでの近世部門の成果を公表することにしました。

◎時代別研究

時代	研究テーマ	対象資料	備考
近世	近世広域行政機関（京都町奉行所等）文書の研究	「明和3年 諸事覚」（古久保家文書） 「宝暦5年 仲ヶ間勤方並年寄、町用人勤方御尋二付書上ル控」（古久保家文書）	府立大学大学院講座「地域史研究」において対象資料の解読文を作成

◎成果公表

近世部門資料翻刻

方法	資料名
資料館紀要による成果報告（京都町奉行所関係資料集二として解読文を掲載）	「天和3年 御公用諸事日記」（古久保家文書）

近世部門地域史研究

方法	資料名
資料館紀要による成果報告（京都府域及び府域も深く関わる畿内・近国社会を対象とした研究論文集〈徳川日本と京都町奉行支配国の諸相〉を掲載）	①「徳川日本とは何か」（水本邦彦）／②「法令と文学作品からみた近世衣類統制の性格—天和三年令を中心に—」（寺嶋一根）／③「近世伏見の土地・人の構造とその支配」（伊藤誠之）／④「京都近郊豪農と門跡寺院」（平塚理子）／⑤「奈良奉行所における行政組織形成の萌芽」（水谷友紀）／⑥「触にみる近世『徳川領国』内丹波国の構造—京都府域関係古文書のアレンジメントの前提として⑤—」（山田洋一）／⑦「『豊岡県布達』について—丹波国天田郡田野村由良家文書を事例に—」（西村正芳）

(2) 学会等視察受け入れ

受入年月日	受入学会等名	受入者数	視察内容
平成21年4月24日	西安外国語大学代表团	5名	館蔵資料（古典籍、東寺百合文書等）の紹介
平成21年5月29日	全国歴史資料保存協議会役員会	11名	館内施設見学
平成21年6月25日	京都府文化財保護指導委員説明会	25名	館蔵文化財（国宝・重要文化財・府指定有形文化財）の紹介
平成21年7月10日	大邱慶北研究所（韓国）	3名	古都保存政策、活性化政策関係視察
平成21年8月20日	日本古文書学会	40名	東寺百合文書原本視察
平成21年8月25日	第14回国際歴史地理学会	37名	館蔵地図資料の紹介
平成21年9月3日	京都民事調停協会研修会	36名	館蔵資料（東寺百合文書、行政文書、古久保家文書）の紹介
平成21年12月10日	熊本県地域振興部文化企画課	3名	館蔵歴史資料（古文書、行政文書）の紹介
平成21年12月16日	オランダ国立公文書館修復担当者等	3名	古文書の形態、保存の紹介

(3) 大学学外授業等の受け入れ

各大学の史料講読などの学外授業等に協力し、文献資料、古文書、行政文書等の概要および閲覧制度、資料の取り扱いなどに説明した後、実際に資料の閲覧をしていただきました。

受入年月日	受入大学名	受入学生数
平成21年6月13日	立命館大学文学部	13名
平成21年7月4日	追手門学院大学学芸員課程	16名
平成21年7月24日	京都造形芸術大学芸術学部	13名
平成21年9月8日	同志社大学政策学部	3名
平成21年10月23日	京都府立大学文学部	38名
平成21年11月17日	京都造形芸術大学芸術学部	5名
平成21年12月3日	京都府立大学文学部	15名
平成22年1月22日	京都府立大学文学部	34名

(4) 大学への出講

立命館大学の古文書実習、京都府立大学文学部の博物館実習講義（学芸員課程）に出講（通年）しました。

(5) その他

歴史資料課職員が、京丹後市史編さん専門部会（近世・近代）の部員として、3回の調査に出席しました。

12 図書館実習・インターンシップ

司書資格取得を目指す学生を対象とした図書館実習及び将来へ向けての職場体験を目的としたインターンシップを次のとおり受け入れました。

(1) 図書館実習

龍谷大学学生 2名 8月4日～7日 4日間

同志社大学学生 2名 8月18日～21日 4日間

(2) インターンシップ

立命館大学学生 3名 9月1日～4日、17日、18日 6日間

なお、2月から3月の収蔵品展において、インターンシップの成果発表を行いました。

13 館蔵資料の撮影と複写

(1) 撮影と複写

館蔵資料を調査研究、出版等に使用するための特別撮影及び利用は334件、1,167点でした。

また、館蔵資料の複写利用は14,205件、364,343枚でした。

特別撮影及び利用状況

資料種別	件数	点数
図書資料	113件	184点
文書資料	169	886
	古文書 66	476
	行政文書 74	169
写真資料	29	241
管理委託現物資料	52	97
合計	334	1,167

複写状況

資料種別	複写種別		件数	枚数
図書資料	電子式複写	白黒	13,533件	272,937枚
		カラー		8,317
	マイクロ複写			33,545
	マイクロダブプリンター			4,525
	デジタル画像プリント			333
小計			13,533	319,657
文書資料	電子式複写	白黒	672	10,060
		カラー		427
	マイクロ複写			32,538

	マイクロダブプリンター		1,285
	デジタル画像プリント		376
	小計	672	44,686
合計		14,205	364,343

(2) 報道機関を通じた情報発信

ア 「古典籍へようこそー京都府立総合資料館の書庫からー」

総合資料館が所蔵する古典籍について、府立大学文学部教員及び資料館職員がわかりやすく解説する「古典籍へようこそー京都府立総合資料館の書庫からー」を京都新聞に連載しました。

高校生をはじめ広く府民に古典籍の面白さを伝え、生涯学習に生かしてもらおうと同時に、京都の文化の奥深さと歴史の蓄積を紹介することを目的に、総合資料館と府立大学の共同の取り組みとして始めました。毎月第2・第4日曜日の朝刊教育面に、1年間掲載しました。本年度掲載分は下記のとおりです。

掲載日	古典籍	執筆者
4月12日(日)	京極派和歌と近代短歌	赤瀬信吾氏(京都府立大学文学部教授)
4月26日(日)	土蜘蛛之草紙	池田敬子氏(京都府立大学文学部教授)
5月10日(日)	「日本長暦」「古今交蝕考」	藤原直幸(総合資料館主事)
5月24日(日)	韻府群玉	小松 謙氏(京都府立大学文学部教授)
6月14日(日)	八文字屋本	藤原英城氏(京都府立大学文学部准教授)
6月28日(日)	源氏物語系図	安達敬子氏(京都府立大学文学部教授)
7月12日(日)	七夕と梶の葉	松田万智子(総合資料館資料主任)
7月26日(日)	「新薄雪物語」のやさ男	母利司朗氏(京都府立大学文学部教授)
8月9日(日)	容齋随筆	林 香奈氏(京都府立大学文学部准教授)
8月23日(日)	花伝書	山崎福之氏(京都府立大学文学部教授)
9月13日(日)	大般若波羅密多經	合田 淳(総合資料館主事)
9月27日(日)	和漢朗詠集	赤瀬信吾氏(京都府立大学文学部教授)
10月11日(日)	書経大全	小松 謙氏(京都府立大学文学部教授)
10月25日(日)	中国の字書「古今韻会挙要」	井野口孝氏(京都府立大学文学部教授)
11月8日(日)	狭衣物語	安達敬子氏(京都府立大学文学部教授)
11月22日(日)	奈良絵本「あつもり」	池田敬子氏(京都府立大学文学部教授)
12月13日(日)	西鶴「世間胸算用」	藤原英城氏(京都府立大学文学部准教授)
12月27日(日)	春秋胡氏纂疏	小松 謙氏(京都府立大学文学部教授)
1月10日(日)	勅撰和歌集(二十一代集)	赤瀬信吾氏(京都府立大学文学部教授)
1月24日(日)	何人連歌	母利司朗氏(京都府立大学文学部教授)
2月14日(日)	敬菴遺稿	楠 久美(総合資料館主事)
2月28日(日)	幾何原本	藤原直幸(総合資料館主事)
3月14日(日)	杜甫の詩集「杜工部集」	林 香奈氏(京都府立大学文学部准教授)
3月28日(日)	万葉地名国分	山崎福之氏(京都府立大学文学部教授)

14 資料の貸与

本年度、展覧会の展示等のため、次のとおり館蔵資料の館外貸与を行いました。

(1) 図書資料

本年度は、次のとおり、合計11件、156冊の貸与を行いました。

貸与先及び展覧会等の名称	資料名	冊数
亀岡市文化資料館	勢陽五鈴遺響	11
春季特別展「春の丹波に獅子が舞う 諸国をめぐる伊勢太神楽」	伊勢參宮名所圖會	8
京都府立山城郷土資料館	平安人物誌 文政5年版	1
企画展「大倉笠山-南山城の文人画家」	〃 文政13年版	1
	〃 天保9年版	1
	〃 慶応3年版	1
城陽市歴資民俗資料館	京雀 7巻	7
夏季特別展「えころじー江戸学」	日本山海名産圖會 5巻	5
	所作入由来入人倫訓蒙図彙 1～7	7
	京羽二重大全 8巻	8
MIHO MUSEUM	平安人物志 明和5年版	1
秋季特別展「若冲ワンダーランド」	〃 安永4年版	1
那須塩原市那須野が原博物館	米歐回覽日記	15
特別展	琵琶湖疏水圖誌	3
「近代を潤す三大疏水と国家プロジェクト —安積疏水・那須疏水・琵琶湖疏水」	塵海	38
	〔琵琶湖疏水工事写真帖〕	1
	琵琶湖疏水要誌 訂正	1
	琵琶湖疏水要誌 附録	1
	琵琶湖疏水要誌 巻3	1
	The Lake Biwa, or Kyoto-tu canal	1
	疏水工費収支精算予算 明治18年・20年	1
東京都江戸東京博物館	新選京都名所 第1集（三木翠山画）	
特別展「よみがえる浮世絵 —うるわしき大正新版画展」	『大堰川の花見船』	1
	『大文字の夜の木屋町』	1
	観方創作版画 第1集（吉川観方画）	
	『成り駒屋の紙治 河庄の場』	1
	『雛三』	1
サントリー美術館	京雀	7
「美（うるわ）しの和紙 —天平の昔から未来へ—」	雍州府志	10
京都府京都文化博物館	二水記	7
東京都江戸東京博物館	寛永行幸記 2巻	2
特別展「いけばな ～歴史を彩る日本の美～」	仙洞寛永十年七夕七遊記	1
	座敷飾繪圖付口傳書	1
大山崎町歴史資料館	時慶卿記（巻五、九）	2

企画展「豊臣秀吉と大山崎」		
京都府立山城郷土資料館 特別展「甘柿・干し柿・柿渋 －南山城の柿栽培と柿渋文化－」	雍州府志 第6巻	1
京都府京都文化博物館 世界無形文化遺産登録記念企画展示 「受け継いでいく祇園祭」	祇園御本地 祇園會細記 祇園會鉾記 六月十四日祇園會山鉾列書 ・ 祇園會御祭禮御行列次第 祇園會山鉾之由来 山鉾由来記 2巻	1 1 1 1 1 1 2
		156冊

(2) 文書資料

ア 古文書

本年度は、次のとおり、合計7件、29点の貸与を行いました。

区分	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	冊数
近世・近代	三井記念美術館／「道教の美術」展覧会	若杉家文書	2
	大阪市立美術館／「道教の美術」展覧会	若杉家文書	2
	長崎歴史文化博物館／「道教の美術」展覧会	若杉家文書	2
	城陽市教育委員会（城陽市歴史民俗資料館）／夏季特別展「えころじー江戸学」	近江屋吉左衛門家文書	2
	佐賀県立名護屋城博物館／平成21年度佐賀県立名護屋城博物館特別企画展「肥前名護屋城と「天下人」秀吉の城」展示のため	旧幕府関係資料	1
	大山崎町歴史資料館／第17回企画展「豊臣秀吉と大山崎」展	中井家文書	2
	京都市学校歴史博物館／企画展「開校140周年記念 町衆のエネルギー！京都・番組小学校展」	四条町文書／三条衣棚町文書／福長町文書／真町文書・甲	18

イ 行政文書

本年度は、次のとおり、合計1件、5点の貸与を行いました。

貸与先及び展覧会等の名称	資料名	冊数
京都市学校歴史博物館 企画展「開校140周年記念 町衆のエネルギー！京都番組小学校展」	京都府史ほか	5

ウ 近代文学資料

本年度は、次のとおり、合計1件、14点の貸与を行いました。

貸与先及び展覧会等の名称	資 料 名	冊数
平等院ミュージアム鳳翔館 平安遷都1300年記念展「都からの文運 — 初公開の文人日記 昌子と鉄幹そして漱石、吉井、谷崎」	天眼文庫 「与謝野鉄幹・江南文三・中浜糸子等寄書」ほか	14

(3) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、合計17件78点の貸与を行いました。

主な貸与先等は次のとおりです。

貸与先及び展覧会等の名称	部 門	資 料 名	点数
毎日新聞社事業本部 「生誕100年記念 秋野不矩」	陶 芸	秋野不矩「初冬」ほか	2
奥田元宗・小由女美術館、読売新聞大阪本社 「憧れのヨーロッパ — マイセン・セーブル・ミントンとの出会い — 」	陶 芸	七代錦光山宋兵衛 「色絵婦子図三足香炉」	1
迎賓館京都事務所 迎賓館における海外要人接遇（サミット等）	陶芸他	六代清水六兵衛 「三彩緑濁四方花瓶」ほか	9
大津市歴史博物館 「絵変り大津絵の世界」	日本画	円山応挙「大津絵美人図」ほか	5
南丹市立文化博物館 「妖怪大集合！！」	日本画	「百鬼夜行絵巻」ほか	5
北九州市立小倉城庭園博物館 「馬 ～人と自然の文化史～」	染 織	納戸平絹地馬具模様振袖ほか	5
財団法人松伯美術館 「革新者たちの挑戦」 ～よき人よき友 松篁の見つめた人々～	陶 芸	六代清水六兵衛「色絵雉飾皿」 ほか	2
京都市学校歴史博物館 「松園・松篁・淳之 ～芸術家を育んだ京の町～」	日本画	上村松篁「縞白鷗」	1
福山市鞆の浦歴史民俗資料館 「坂本龍馬といろは丸事件」	歴 史	坂本竜馬書簡集	1
茨城県立美術館 「めでた尽くし」	風俗他	「都林泉名勝図会」ほか	6
染・清流館 「忘れ得ぬ染色作家たち」	染 織	春日井秀大「サン・クルーの森」 ほか	6
株式会社読売新聞大阪本社	日本画	池大雅「草書芝草詩」（3幅）	3

「王羲之に学ぶ」			
笠岡市立竹喬美術館 「岡本豊彦から小野竹喬一岡山における四條派の系譜」	日本画	谷口香嶠作「出町柳農婦図」	1
京都市学校歴史博物館 「幽玄の美を追い求め ～松園・松篁の芸術観を育てた能楽～」	日本画	上村松篁「壬生狂言」	1
福島県立美術館 「伊砂利彦 志村ふくみ 二人展」	染 織	伊砂利彦「スクリヤービン作曲『炎に向かって』のイメージより」	1

15 図書館間相互貸出

(1) 府内公共図書館等

平成4年7月に開始した府内の公共図書館等との図書の相互貸借については、本年度、29館、106冊の貸出し、4館、19冊の借受けを行いました。明細は次のとおりです。

貸借先館名	貸出冊数	借受冊数	貸借先館名	貸出冊数	借受冊数
京都府立図書館	8冊	14冊	与謝野町立図書館加悦分室	1冊	—
宇治市中央図書館	1	—	京丹後市立峰山図書館	1	—
宇治市東宇治図書館	2	—	京丹後市立あみの図書館	1	—
城陽市立図書館	10	—	京丹後市立図書館久美浜図書室	1	—
八幡市立八幡市民図書館	24	—	京都市中央図書館	1	3冊
宇治田原町立図書館	1	—	京都市左京図書館	1	—
木津川市立中央図書館	6	—	京都市岩倉図書館	1	—
笠置町中央公民館図書室	1	—	京都市南図書館	3	—
精華町立図書館	—	1	京都市吉祥院図書館	1	—
亀岡市立図書館中央館	2	—	京都市久世ふれあいセンター図書館	—	1
南丹市立中央図書館	9	—	京都市右京中央図書館	7	—
南丹市日吉図書室	4	—	京都市醍醐中央図書館	3	—
南丹市美山図書室	2	—	京都市久我のもり図書館	1	—
京丹波町中央公民館図書室	2	—	京都市山科図書館	3	—
福知山市立図書館中央館	2	—	計	106冊	19冊
舞鶴市立西図書館	3	—			
綾部市図書館	4	—			

(2) 国立国会図書館

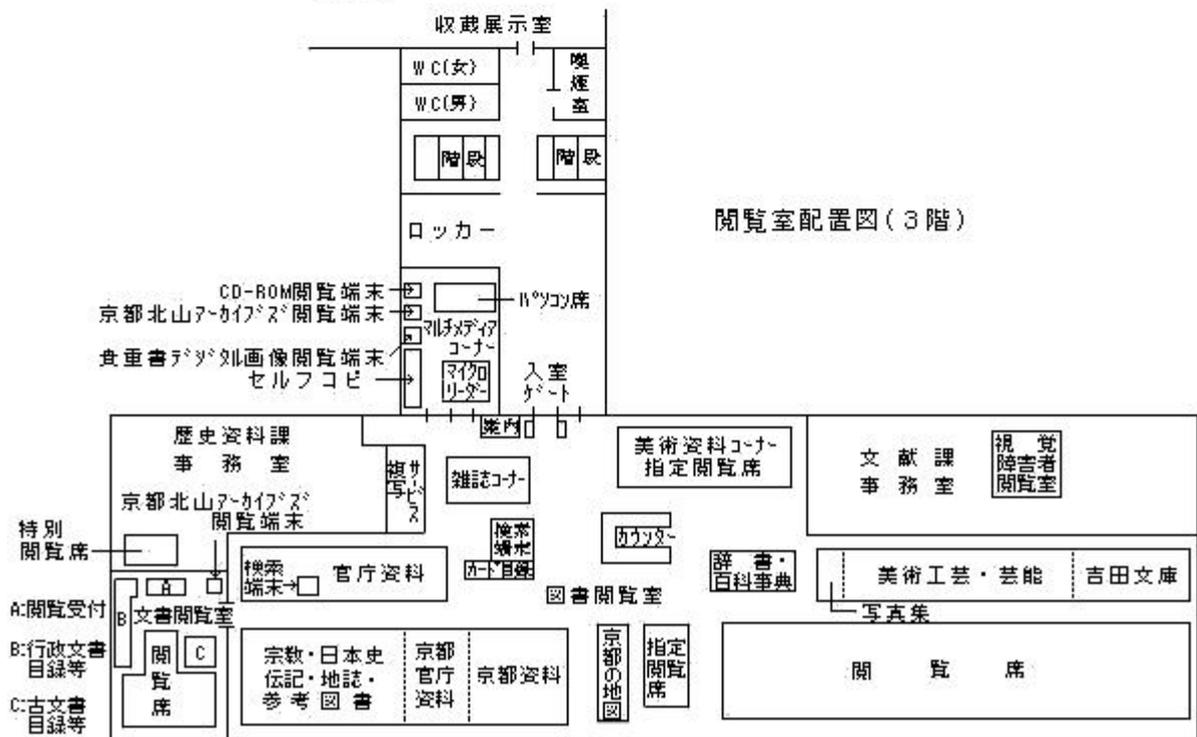
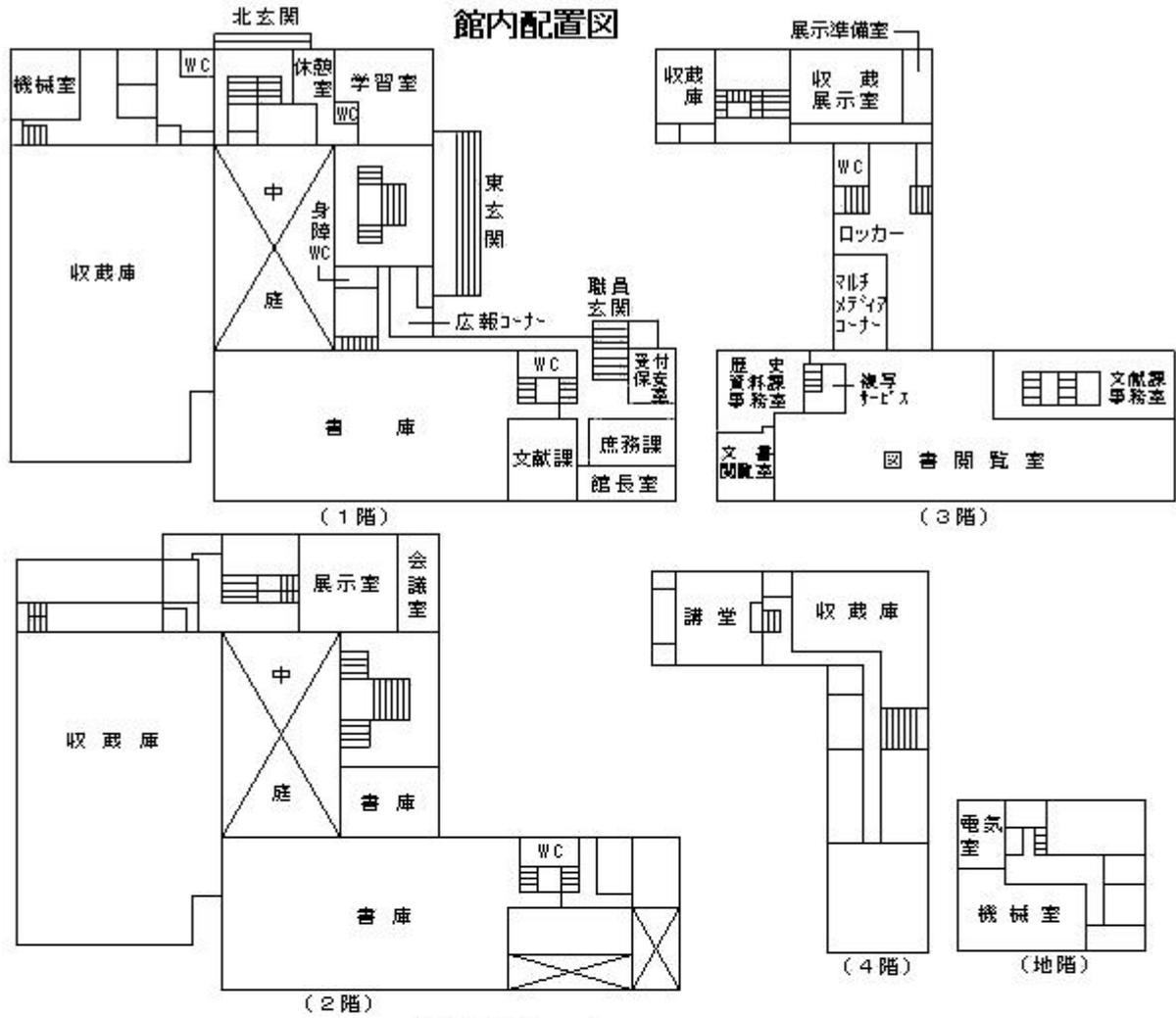
昭和61年7月から国立国会図書館所蔵図書の借受け・閲覧サービスを行っていますが、本年度の借受利用は、2件、2冊でした。

16 施設の状況

敷地面積	13,911.95 m ²		
建物面積	4,501.57 m ²	延	13,743.33 m ²
建設費	建物及び造園工事費	54,178 万円	内部設備費 15,007 万円
	計 69,185 万円		
構造	鉄筋コンクリート 一部鉄骨 地上4階 地下1階		

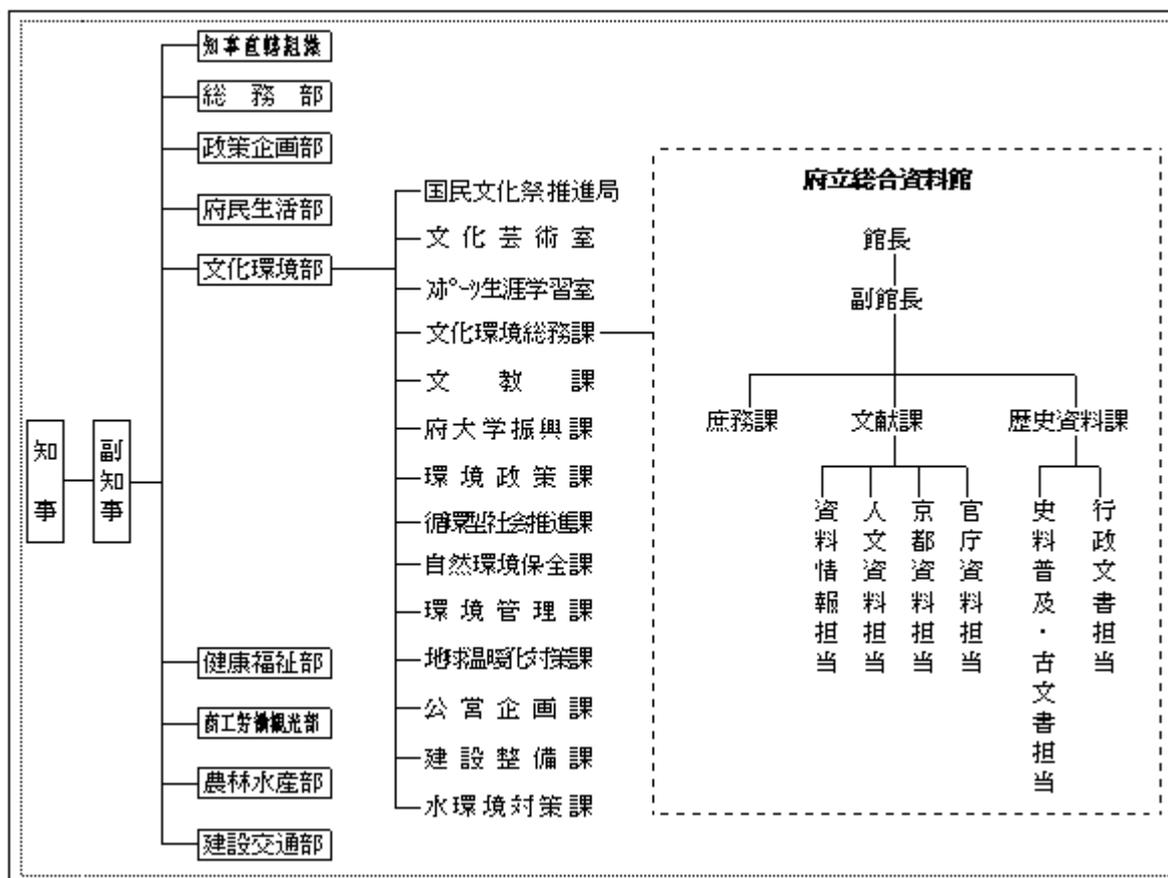
主要室の規模（平成22年3月31日現在）

1 階	2 階	3 階	4 階
学習室 189 m ²	展示室 194 m ²	図書閲覧室 975 m ²	講堂 327 m ² (350席)
書庫 1,089 m ²	書庫 1,045 m ²	文書閲覧室 85 m ²	
風俗資料室 116 m ²	収蔵庫 478 m ²	マルチメディアコーナー 65 m ²	
収蔵庫 1,014 m ²	第三書庫 335 m ²	収蔵展示室 255 m ²	



17 組織・業務分担・予算（平成22年4月1日現在）

（1）組織



（2）職員数

	職員	嘱託
館長	—	1
副館長	1	—
庶務課	10 ※	—
文献課	17	9
歴史資料課	11	1
計	39	11

注 副館長は庶務課長事務取扱であり、※の数に課長は含まない。

(3) 業務分担

ア 庶務課

- 1 公印の保管に関する事。
- 2 規程等の制定改廃に関する事。
- 3 人事、服務、給与及び勤務条件等に関する事。
- 4 広報及び文書事務等に関する事。
- 5 予算、決算及び会計事務に関する事。
- 6 財産の管理、運営及び庁舎の警備に関する事。
- 7 調査・研究機関との連携及び生涯学習事業の企画に関する事。
- 8 (財)京都文化財団への業務委託及び総合資料館友の会に関する事。
- 9 他課の所管に属さない事。

イ 文献課

- 1 図書等資料の収集、整理及び保存に関する事。
- 2 図書等資料の閲覧、利用及びレファレンスに関する事。
- 3 図書等資料の普及に関する事。
- 4 図書閲覧室及び書庫の管理運営に関する事。
- 5 関係機関との連絡調整に関する事。

ウ 歴史資料課

- 1 古文書、行政文書、写真資料及び近代文学資料の調査、収集、整理及び保存に関する事。
- 2 古文書、行政文書、写真資料及び近代文学資料の閲覧及び利用に関する事。
- 3 古文書、行政文書、写真資料及び近代文学資料の普及に関する事。
- 4 文書閲覧室及び文書庫の管理運営に関する事。
- 5 関係機関との連絡調整に関する事。

(4) 予算状況 (平成22年度当初予算)

(単位：千円)

区 分	予算額	説 明
図書収集整理閲覧事業	10,185	資料等の収集・閲覧等
文化資料収集保存展示事業	42,276	美術・工芸、伝統産業の現物資料の保存・展示
歴史資料収集公開事業	2,131	古文書、行政文書の収集・整理等
図書館情報ネットワークシステム運営事業	4,410	図書館情報ネットワークシステム運営事業
総合資料館館蔵資料保存・活用推進事業	1,429	展覧会、公開講座の開催等
重要文化財京都府行政文書修理事業費	8,000	京都府行政文書の修理・補修費用
計	68,431	

* 管理費を除く

18 平成21年度の主な活動

平成21年

- 4月3日 元興寺文化財研究所調査（奈良市）
- 4月15日 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会（以下「全史料協」）近畿部会運営委員会（奈良市）
- 4月21日 全史料協近畿部会役員会（奈良市）
- 4月23日 京都府図書館等連絡協議会（以下「京図連協」）総会（京都府立図書館）
- 4月24日 西安外国語大学代表団視察
- 4月30日 全史料協調査・研究委員会（さいたま市）
- 4月30日 第191回古文書相談
- 5月1日 立命館大学授業の受け入れ
- 5月8日 立命館大学授業の受け入れ
- 5月15日 永年保存文書移管作業（当館）
- 5月15日 全史料協大会・研修委員会（広島市）
- 5月15日 京丹後市市史編さん委員会近世・近代専門部会実地調査（京丹後市等）
- 5月21日 全史料協近畿部会総会及び第101回例会（奈良市）
- 5月29日 全史料協役員会受け入れ（当館）
- 6月3日 京図連協広報委員会（京都府立図書館）
- 6月9日 国際アーカイブズの日記念講演会（山口市）
- 6月10日 全国公文書館長会議（山口市）
- 6月13日 立命館大学授業の受け入れ
- 6月13日 立命館大学学外授業（当館）
- 6月15～16日 庁内ベンチャー事業にかかる調査
沖縄県北谷町公文書館、沖縄県公文書館（沖縄県）
- 6月16～17日 醍醐寺聖教調査（醍醐寺）
- 6月19日 京図連協相互協力委員会（京都府立図書館）
- 6月25日 京都府文化財保護指導委員説明会（当館）
- 6月27日 立命館大学授業の受け入れ
- 6月26日 近畿公共図書館協議会総会（大阪府立中央図書館）
- 6月29日 文書主任研修出講（綾部広域振興局）
- 6月30日 府立大学図書館調査（府立大学）
- 7月1日 重要文化財京都府行政文書修理対象資料搬出（京都国立博物館内文化財保存修理所）
- 7月3日 京図連協研修研究委員会（京都府立図書館）
- 7月4日 追手門学院大学学外授業（当館）
- 7月7日 全史料協近畿部会第102回例会（当館）
- 7月9日 国立国会図書館長と都道府県立及び政令指定都市立図書館長との懇談会（国立国会図書館東京本館）
- 7月10日 全国公共図書館協議会総会（東京都立中央図書館）
- 7月10日 大邱慶北研究所（韓国）視察
- 7月10日 行政文書管理セミナー（大阪市）
- 7月14日 舞鶴市引揚記念館担当者来館（当館）

- 7月16日 文書主任研修出講（本庁）
- 7月20日 京丹後市市史編さん委員会近世・近代専門部会実地調査（京丹後市）
- 7月22日 文化庁文化財調査官来館（当館）
- 7月24日 京都造形芸術大学芸術学部写真資料調査
- 7月25～8月23日
特別展「古典籍へようこそ —直江版『文選』とそのなかまたち—」
- 7月26日 全史料協近畿部会公開シンポジウム「市民社会の財産としての公文書・地域資料を考える」（京大会館）
- 7月30日 特別展開連行事：「寺子屋講座 和本をつくろう！」
- 7月30日 庁内ベンチャー事業中間報告会（本庁）
- 8月3～17日 古文書入門教室募集
- 8月4日 第192回古文書相談
- 8月4日～8月21日
龍谷大学・同志社大学図書館学実習生受入（4名）
- 8月8日 特別展開連行事：トークセッション「古典籍は、愛だ—直江版『文選』とその水脈—」
- 8月11日 特別展開連行事：「寺子屋講座 和本をつくろう！」
- 8月18・19日 京丹後市市史編さん委員会近世・近代専門部会実地調査（京丹後市）
- 8月20日 日本古文書学会東寺百合文書視察
- 8月20日 全史料協調査・研究委員会（さいたま市）
- 8月25日 第14回国際歴史地理学会視察
- 8月25～27日 古文書入門教室実施
- 8月24日～9月14日
歴史資料カレッジ前期分募集
- 9月1日～4日、17日・18日
立命館大学インターンシップ学生受入（3名）
- 9月2日 第18回京都図書館大会（同志社大学）
- 9月3日 京都民事調停協会研修会視察
- 9月4日 著作権セミナー（大阪市）
- 9月4日 図連協広報委員会
- 9月10日 庁内ベンチャー事業発表会（本庁）
- 9月10日 愛知県公文書館担当者視察（当館）
- 9月10・17・24日
歴史資料カレッジ前期分実施
- 9月16日 国立国会図書館データベースフォーラム（国立国会図書館関西館）
- 9月18日 府立植物園調査（植物園）
- 9月28日 同志社大学政策学部資料見学
- 10月7日 府立大学調査（府立大学）
- 10月9日 全史料協近畿部会運営委員会（奈良市）
- 10月22日 庁内ベンチャー二役報告（本庁）
- 10月23日 府立大学文学部古文書演習（当館）
- 10月24日 Lifo当館見学（当館）

- 10月29日 民主党京都府議団事業仕分けの対象となる（本庁）
- 10月30日 第95回全国図書館大会（東京都）
- 10月30日 全史料協近畿部会第103回例会（大阪市）
- 11月3日 京都府立大学・京都府立総合資料館・京都府立植物園
3機関連携包括協定締結記念 公開シンポジウム
- 11月8日 府立図書館・総合資料館連携「古典の日」講演会
「平家物語の魅力 清盛の人物造型」
- 11月14日 北山魅力発見 探検ウォーク
- 11月17日 全史料協調査・研究委員会（福島市）
- 11月18～19日 全史料協全国大会・総会・研修会（福島市）
- 11月20日 京図連協中部ブロック実務研修会（キャンパスプラザ京都）
- 11月21～22日 北山スタンプラリー
- 11月27日 京都大学図書館機構第2回講演会（京都大学）
- 12月3日 京都工芸繊維大学学外授業（当館）
- 12月10日 熊本県博物館プロジェクト班視察（当館）
- 12月16日 オランダ国立公文書館修復担当者来館（当館）
- 12月18日 国立公文書館担当者来館（当館）

平成22年

- 1月7日 京図連協広報委員会（京都府立図書館）
- 1月22日 XooNlps研究会2009関西ワークショップ（東大阪市）
- 1月22日 府立大学文学部古文書演習（当館）
- 1月22日 島根県担当者視察（当館）
- 1月26日 国立公文書館、国文学研究資料館調査（東京）
- 1月26～28日 国立公文書館実務担当者研究会議（国立公文書館）
- 1月29日 埼玉県文書館視察（さいたま市）
- 2月2日～5日 図書館地区別研修（大津市）
- 2月5日 全史料協調査・研究委員会 研修セミナー（さいたま市）
- 2月10日 全史料協大会・研修委員会（広島市）
- 2月15～26日 歴史資料カレッジ後期分募集
- 2月18日 第1回公共図書館におけるデジタルアーカイブ推進会議
（国立国会図書館関西館）
- 2月19日 丹後郷土資料館古文書講座出講（宮津市）
- 3月5日 全史料協近畿部会運営委員会（奈良市）
- 3月7・14・21日 歴史資料カレッジ後期分実施
- 3月10日 試作システム館内発表
- 3月25日 収蔵品展関連行事「寺子屋講座 知ろう！つくろう！北山杉」
- 3月30日 重要文化財京都府行政文書修理対象資料納品

19 沿革

- 昭和 34. 34 年度予算に調査・準備費を計上
35. 6. 6 「建設のための懇話会」を設置
36. 12. 8 起工式
37. 11. 10 定礎式
38. 10. 28 設置条例制定・施行（京都府立総合資料館条例・昭和 38 年条例第 29 号）
38. 11. 15 開館式及び祝賀会を挙げる。翌 16 日から閲覧業務等開始（庶務部に庶務係・経理係、資料部に展示係・資料係、図書部に収書係・目録係・閲覧第一係・閲覧第二係・閲覧第三係を置く。3 部 9 係）
39. 2. 21 文献資料の複写業務を開始
39. 4. 1 機構改革（係を課とし、3 部 9 課となる）
39. 11. 14 「京都府立総合資料館友の会」発足
40. 4 京都府開庁 100 年を記念して京都府百年史を編さんすることとなり、事業を開始
41. 6 民謡調査を開始
42. 8. 11 「東寺百合文書」を受入れ、整理・補修業務を開始
43. 4. 23 京都府百年史編さん事業の本格化に伴い百年史編さん室を設置（3 部 1 室 9 課となる）
43. 11 昔話調査を開始
45. 4 『京都新聞』（明治 18 年～昭和 44 年）のマイクロフィルム作成事業を開始
45. 8. 6 「古文書講習会」を開始
45. 8. 11 「東寺百合文書」及びその他の古文書の整理・保存事業を進めるため資料部に古文書課を設置するとともに、組織を再編（庶務部に庶務課、資料部に資料課・古文書課、図書部に整理課・閲覧課、百年史編さん室の 3 部 1 室 5 課となる）
45. 9. 22 「館蔵品陳列場」（現・2 階展示室）を開設
45. 12 資料の寄託制度を開始
46. 1. 1 『資料館だより』創刊
46. 6 新聞マイクロフィルム版等の閲覧・複写業務を開始
46. 7. 15 第 2 収蔵庫完成（鉄筋コンクリート 2 階建 延 274. 76 m²）
46. 7 『公開特許公報』『公開実用新案公報』の閲覧業務を開始
47. 3. 31 『資料館紀要』創刊
47. 6. 1 京都府百年史編さん事業完了のため、百年史編さん室を廃止。同時に、当館に移管されることになった京都府庁文書を中心に関係資料を収集・整理するため、資料部に行政文書課を設置（3 部 6 課となる）
48. 3. 30 第 3 収蔵庫完成（鉄筋コンクリート 2 階建、恒温恒湿設備、延 1702. 18 m²）
48. 6. 16 部制を廃止し、次長を置く。また、組織も 6 課に再編するとともに、各課に資料主任を置く。（庶務課（庶務係、経理係）、文献第一課、文献第二課、文化資料課、古文書課、行政文書課の 6 課 2 係となる）
48. 11. 15 開館 10 周年・新収蔵庫竣工記念式典を開催
48. 12 東寺観智院金剛蔵聖教調査を開始
49. 4 有形民俗資料調査を開始
49. 8 教科書を収集

- 51. 1 「京の百景」を受入れ
- 51. 5. 26 組織を整理・統合（庶務課（庶務係、経理係）、文献課、文化資料課、歴史資料課の4課2係となる）
- 51. 1 視覚障害者・身体障害者のため、玄関スロープ設置等の施設整備に着手
- 52. 3 府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
- 52. 4 古文書の公開を開始
- 52. 1 古文書所在情報調査を開始
- 53. 3 府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
- 55. 1 「東寺百合文書」の公開を開始
- 55. 4 「東寺百合文書」のマイクロ化事業を開始
- 55. 6. 6 「東寺百合文書」が重要文化財に指定される。
- 56. 4 近世文書マイクロ写真版の閲覧を開始
- 56. 6. 9 「東寺観智院伝来文書典籍類」が重要文化財に指定される。
- 56. 9. 10 第1回「古文書教室」を開催
- 57. 4 古文書センター推進事業に着手
- 57. 7. 4 大閲覧室、軽読書室、学習室、文書閲覧室の日曜日開室を実施し、毎月20日を休室日とする。
- 58. 4 「東寺百合文書」の第2次修理を開始
- 58. 4. 19 「軽読書室」を閉鎖
- 58. 5. 18 「京都府行政情報資料センター」を開設
大閲覧室内に「軽読書コーナー」を設置
- 58. 10. 14 開館20周年記念式典を開催。翌15日に記念講演会を開催
- 59. 4. 1 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会に加入
- 59. 4. 14 「革嶋家文書」及び「袈裟襷文銅鐸」が京都府指定文化財に指定される。
- 60. 5. 16 府内市町村図書館等を窓口とする館蔵図書の複写受付業務を開始
- 61. 7. 1 国立国会図書館所蔵図書の閲覧利用サービスを開始
- 62. 5. 12 「古文書相談」を開始
- 63. 3. 29 美術工芸・歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を京都府京都文化博物館（昭和63年10月開館）を運営する財団法人京都文化財団に委託するため、総合資料館条例一部改正条例（昭和63年条例第3号）を制定公布
- 63. 4. 14 ブック・ディテクション・システム（図書持出防止装置）を設置
- 63. 4. 18 文化資料課を廃止（庶務課（庶務係、経理係）、文献課、歴史資料課の3課2係となる）
美術工芸、歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を財団法人京都文化財団に委託
- 63. 9. 30 京都府京都文化博物館の開館に伴い、「展示室」を廃止
「京都府行政情報資料センター」を廃止
- 63. 10. 1 京都府情報公開条例の施行に伴い、「府政情報コーナー」を設置
- 平成元. 4 貴重書のマイクロフィルム作成事業を開始
廃止した展示室の書庫・文書庫への改修など収蔵施設の整備を実施
- 元. 10. 20 第1回「文化講座」を開催
- 2. 10. 8 古文書のマイクロフィルム公開を開始

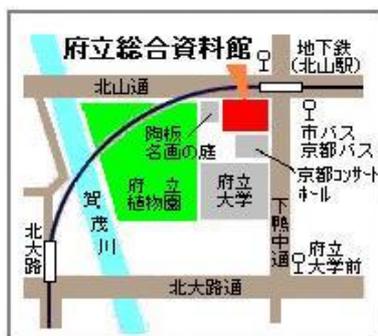
- 3. 5 明治期京都府庁文書（永年文書）の緊急補修事業を開始
- 4. 4. 1 日本図書館協会に再加入
- 4. 7. 1 京都府図書館等連絡協議会に加盟する図書館等との資料貸借業務を開始
- 5. 4. 1 定例休館日を毎月 20 日から毎月第 2 水曜日に変更
- 5. 5. 20 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会に設立加入
- 5. 11. 7 開館 30 周年記念事業「北山まつり」を開催
- 6. 6. 4 「特別資料室」を開設し、吉田文庫を公開
- 9. 4 京都府立図書館の貴重書デジタル画像作成に資料提供
- 9. 6. 30 「東寺百合文書」が国宝に指定される。
- 10. 3. 31 「京都府知的所有権センター」の開設により、「特許資料室」を閉鎖
- 10. 12 閲覧可能な古文書の所在情報調査を開始
- 11. 4 京都府 20 世紀歴史資料保存事業を開始
- 12. 4 京都府 20 世紀資料整理事業を開始
- 12. 9. 30 「特別資料室」を閉鎖
- 12. 10. 1 京都府立図書館への図書資料の一部移管作業、館内施設整備等のため、大閲覧室及び学習室を休室
- 12. 12. 28 文書閲覧室を含め全館休館
- 13. 3. 23 「京都府行政文書」が府指定有形文化財に指定される。
- 13. 5. 11 京都府立図書館の新築開館に合わせ、当館も再開館（大閲覧室を図書閲覧室に名称変更、文書閲覧室を 4 階から 3 階へ移設、図書検索・貴重書画像閲覧の端末設置、木曜講座の開催等）
- 13. 7. 2 京都府図書館総合目録ネットワークシステムによる相互貸借を開始
- 13. 10. 9 国立国会図書館総合目録ネットワークに参加
- 14. 5. 23 「総合資料館府民講座」を開始
- 14. 6. 26 「京都府行政文書」が重要文化財に指定される。
- 14. 7. 19 ホームページを開設
- 14. 11. 26 「古文書解読講座」を開始
- 14. 12 「京の文化振興プラン（その 1）－京都府が所蔵・保管する貴重な資料の活用方策－」策定
- 15. 5. 29 「革嶋家文書」が重要文化財に指定される。
- 15. 11 開館 40 周年を迎える。
- 16. 3. 25 東寺百合文書翻刻史料集第 1 巻を刊行。記念シンポジウムを開催
- 16. 4. 1 総合資料館所蔵資料データベース「京都北山アーカイブズ」の公開開始
- 19. 12 総合資料館あり方検討プラン策定
- 21. 1 総合資料館基本構想（案）取りまとめ
- 21. 3. 24 古久保家文書が府指定有形文化財に指定
- 21. 3. 27 府立大学、府立植物園、府立総合資料館の 3 機関が包括協定を締結
- 21. 8. 25 「古文書入門教室」を開始
- 21. 9. 10 「歴史資料カレッジ」を開始
- 21. 10. 17～11. 26 植物園、府立大学と共同で包括協定締結記念事業「北山から未来へ」を開催

(参考資料)

館蔵資料の国宝等指定一覧（平成22年3月31日現在）

No.	種別	資料名	点数等	概要
1	国宝 (平 9. 6. 30 指定)	東寺百合文書	18,642 点	京都市南区の東寺（教王護国寺）に伝えられた文書で、奈良時代から江戸時代初期に至る約 900 年間の文書群です。 内容は宗教活動、寺院経済、荘園経営など中世史研究等の基本資料で、昭和 42 年、文化財保護を目的に京都府が購入しました。
2	重要文化財 (昭 56. 6. 9 指定)	東寺観智院伝来 文書典籍類	57 点	東寺の子院である観智院の金剛蔵に伝わった中世資料で、東寺百合文書同様、貴重な学術資料です。なお、本典籍類は同文書と同時に購入しました。
3	重要文化財 (平 14. 6. 26 指定)	京都府行政文書	15,407 点	京都府が行政を行うために管理保存してきた京都府の公文書のうち、京都府立庁前年の慶応 3 (1867) 年から昭和 21 年度までの文書で、近代の政治、歴史、文化を知り得る貴重な資料です。
4	重要文化財 (平 15. 5. 29 指定)	革嶋家文書	2,459 通	京都市西京区川島の革嶋家に伝来した文書で、昭和 49 年、故革嶋廉三郎氏から寄贈されたものです。鎌倉時代から大正年間の約 800 年に及ぶ文書群で、革嶋家の歴史を物語るものです。
5	重要文化財 (昭 43. 4. 25 指定)	池 大雅 「柳下童子図 屏風」	1 点	江戸時代の画家で、日本の文人画の大成者・池大雅が描いた屏風絵です。平成 7 年、財団法人池大雅美術館（佐々木もと子館長）から京都府に寄贈された 73 件、85 点に及ぶ大雅の絵画、書跡、関係資料のうちの 1 点です。
6	府指定有形 文化財 (昭 59. 4. 14 指定)	袈裟襷文銅鐸	4 口	昭和 38 年に、京都市右京区梅ヶ畑の宅地造成工事現場から発見された銅鐸で、昭和 42 年に京都府の所蔵になりました。型式の古さ、「入れ子」の状態での発見、同範鐸の存在など、学術的価値の高いものです。
7	府指定有形 文化財 (平 20. 3. 24 指定)	古久保家文書	266 点	寛文 8 (1668) 年以来、代々上京下西陣組の町代を勤めた古久保家に伝わった古文書です。町代は江戸幕府の京都町奉行所と京都市中の町との間の諸事務を勤めました。御触留、町代の公事番所勤番日記等があります。

交通案内



京都市営地下鉄
烏丸線・北山駅下車(①出口)
市バス ④ ⑧
北山駅前下車
京都バス ④⑤ ④⑥
前萩町下車

休館日

毎月第2水曜日、祝日法に規定する祝日(日曜日の場合は振替休日)、
年末年始(12月28日～1月4日)、蔵書整理期(不定)

開館時間

午前9時から午後4時30分まで

総合資料館 業務概要

- 平成21年度 -

発行日	平成22年8月31日
編集・発行	京都府立総合資料館
	〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-4
	電話 075-723-4831
	ファクシミリ 075-791-9466
	ホームページ http://www.pref.kyoto.jp/shiryokan/
	Eメール shiryokan-shomu@pref.kyoto.lg.jp
印刷	株式会社 田中プリント
